



MusicCAST 

デジタルオーディオターミナル

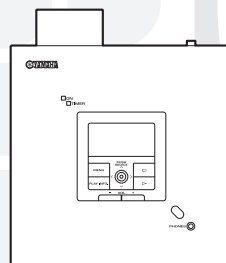
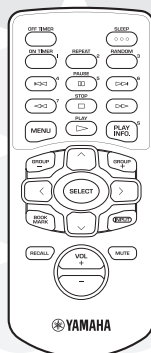
MCX-A10

取扱説明書



ヤマハデジタルオーディオターミナルMCX-A10をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば ▲ は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば ㊄ は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば ㊄ は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステابلで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

MCX-A10 を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため MCX-A10 を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- おおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

MCX-A10 の内部に熱がこもり火災の原因となります。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



必ず行う

MCX-A10 を落としたり、破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

MCX-A10 の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

●水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

●接触面が経年変化を起こし、MCX-A10 の外装を損傷する原因となります。



禁止

MCX-A10 の通風孔にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

MCX-A10 が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

MCX-A10 の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



アース接続

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

故障の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには、MCX-A10（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

- 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴力障害の原因となることがあります。



必ず行う

電池は極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。
感電の原因となることがあります。



注意

MCX-A10 はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。
それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。

専用アダプター以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、MCX-A10 に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



注意

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。

遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。MCX-A10 は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、MCX-A10 の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

■無線 LAN の電波に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、下記連絡先へご連絡頂き、混信回避の為の処置等(例えば、パーティションの設置など)について相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、下記“お客様ご相談センター”へお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01-1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3489

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00、13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)



Fraunhofer Institut Integrierte Schaltungen

MPEG Layer-3 音声圧縮技術については、Fraunhofer IIS および Thomson よりライセンスを受けております。

本製品は、商用放送(地上放送、衛星放送、ケーブル放送および全ての配信放送)、ストリーミング・アプリケーション(インターネット経由、企業ネットワーク経由および全てのネットワーク経由)、その他のコンテンツ配信システム(有料オーディオ、オンデマンドオーディオアプリケーションおよびその類)、物理媒体(コンパクトディスク、DVD、半導体チップ、ハードディスク、メモリーカードおよびその類)などに使用する権利を譲渡、許諾するものではありません。これらの目的に使用するにはライセンスの取得が必要となります。詳細については、<http://mp3licensing.com> をご覧ください。

- ・ 本製品は株式会社 ACCESS の AVE-TCP を搭載しています。
- ・ Copyright© 1996-2002 ACCESS CO., LTD

目次

はじめに

クライアント機の特長	10
付属品の確認	10
マニュアルの種類	11
MusicCAST 使用目的別早見表	12
マニュアル内の表記	13
各部の名称と機能	14
フロントパネル	14
サイドパネル	15
リモコン	16
クライアント機のセットアップ	18
縦置きスタンド（付属品）を取り付ける ..	18
クライアント機を壁に取り付ける	19
サイドパネルカバーを取り外す	19
サイドパネルカバーを取り付ける	19
リモコンに電池をセットする	20
電源アダプターを接続する	21
サーバー機とクライアント機の接続を 確認する	22
クライアント機の電源モードについて	23
スタンバイからオンにする	23
クライアント機の画面	24
クライアント機の操作について	25

ネットワーク（LAN）の設定をする

無線ネットワーク接続	28
有線ネットワーク接続	29
ネットワークの自動設定	30
ネットワーク設定をする	30
サーバー機とクライアント機を自動で 接続する	30
ネットワークの手動設定	34
ネットワーク設定をするまえに	34
Manual Setup 画面を表示する	34
ネットワークモードを設定する	35
Server ID を設定する	36
DHCP を設定する	37
IP アドレスを設定する	38
サブネットマスクを設定する	39

ESS ID を設定する	40
WEP キーを設定する	41

再生する

選曲する	43
基本的なリモコン操作	44
再生情報画面について	45
アーティストから曲を再生する	46
アルバムから曲を再生する	47
ジャンルから曲を再生する	48
すべての曲の中から再生する	49
プレイリストの曲を再生する	49
曲統計 (Song Statistics) から再生する	50
ブックマーク機能を使用する	51
ブックマークリストをつける （ブックマークリストに曲を追加する）	51
ブックマークを消す（ブックマーク リストから曲を削除する）	53
ブックマークリストをプレイリスト にコピーする	53
ブックマークリストを一括消去する	54
ブックマークリストから曲を再生する	55
いろいろな再生の設定について	56
リピート再生を設定する	56
ランダム再生を設定する	57
グループの再生方法を設定する	58
タイム表示を設定する	59
表示項目を設定する	60
サーバー機、クライアント機に接続した 外部音源を聴く	61
サーバー機に接続した外部音源を聴く	61
クライアント機に接続した外部音源を 聴く	61
クライアント機でラジオ放送を聴く	62

いろいろな機能

クライアント機の設定	63
各設定情報の初期設定	63
オフタイマー機能を使う	64

オンタイマー機能を使う	65
オートプレイ機能を使う	67
オートレベルコントロール機能を使う	68
音質を調節する	69
コントラストを調節する	70
スリープ機能を使う	71

システムの設定

システム情報	72
システム情報を確認する	72
ファームウェアをアップデートする	73
初期設定に戻す	75
ネットワークの状態を確認する	76

付録

仕様	78
故障かな？と思ったら	79
用語解説	82
再生編	82
録音編	82
ソフトウェア編	83
ネットワーク編	83
索引	84

はじめに

クライアント機の特長

選曲から再生まで快適な操作性

本体前面のディスプレイを見ながら、リモコン操作によって曲やジャンルなどを選択し、プレイボタンを押すだけで曲を再生できます。早送りや巻き戻し、一時停止なども各クライアント機で自由に行えますので、サーバー機に保存された曲やリストを快適に操作できます。またサーバー機に接続した外部機器の音声を、ネットワークを経由してクライアント機から聴くこともできます。

高音質デジタルパワーアンプおよび外部入出力端子を装備

弊社が新開発した高音質デジタルパワーアンプ（17W+17W）により、クライアント機専用スピーカーシステムMCX-SP10やお手持ちのスピーカーを余裕をもって駆動できます。また、外部オーディオ入出力端子やサブウーファー出力端子を装備していますので、お手持ちのオーディオシステムと接続すれば、配信される曲ををさらに迫力あるサウンドで楽しむことができます。

面倒な設定操作不要なネットワーク自動設定機能を装備

ネットワーク自動設定機能を装備し、クライアントの登録、IPアドレスの設定といったネットワーク設定を簡単なメニュー操作で完了できます。

さらに、サーバー機とクライアント機間の通信は暗号化され、通信保護されますのでセキュリティ面においても安心してお使いになれます。

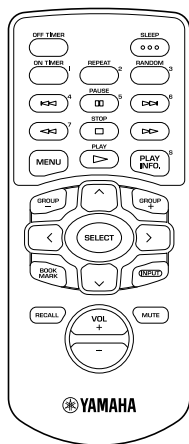
壁掛け設置にも対応する薄型コンパクトなデザイン

高さ210mm、横幅244.5mm、奥行79mmの薄型コンパクトなデザインを採用し、付属スタンドによる縦置き設置のほか、壁掛け設置にも対応します。フロントパネルには質感の高いアルミ素材を採用しています。

付属品の確認

クライアント機に同梱されている付属品がすべてそろっているかご確認ください。

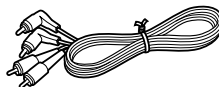
リモコン



リチウム電池 (1 個)



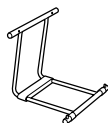
ステレオピンケーブル (1 本)



サブウーファー用ピンケーブル (1 本)



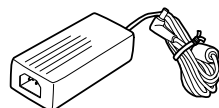
縦置きスタンド



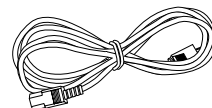
ネジ (2 本)



電源アダプター (LSE0107A1240)



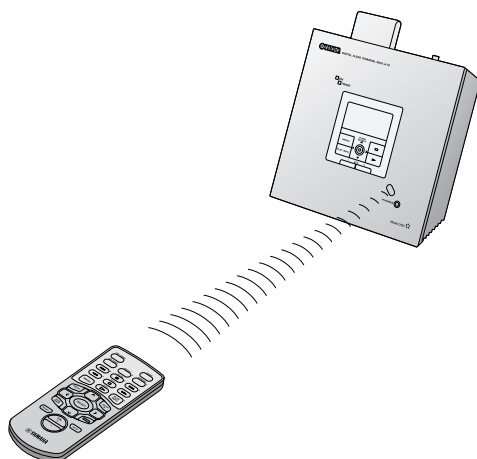
電源コード



マニュアルの種類

MusicCASTに付属するマニュアルには、下記のとおりです。
お使いになる機器の取扱説明書を必要に応じてお読みください。

製品名	マニュアル名	概要
MCX-1000	セットアップガイド	MusicCAST 購入後まずはじめにお読みください。サーバー機 (MCX-1000) とクライアント機 (MCX-A10) のネットワーク接続、周辺機器との接続について解説しています。
	MusicCAST クイックマニュアル	サーバー機 (MCX-1000) およびクライアント機 (MCX-A10) についての基本的な操作を解説しています。接続が終わりとりあえず使ってみたい場合にお読みください。
	MCX-1000 取扱説明書	サーバー機 (MCX-1000) が持つすべての機能について解説しています。いつもお手元においてご活用ください。
MCX-A10	セットアップガイド	MusicCAST 購入後まずはじめにお読みください。サーバー機 (MCX-1000) とクライアント機 (MCX-A10) のネットワーク接続、周辺機器との接続について解説しています。
	MCX-A10 取扱説明書	クライアント機 (MCX-A10) が持つすべての機能について解説しています。いつもお手元においてご活用ください。



MusicCAST 使用目的別早見表

	項目	参照先	概要
接続、準備	同梱品を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 11 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 10 ページ	サーバー機およびクライアント機と同梱品を確認します。
	各部名称を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 15 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 14 ページ	サーバー機およびクライアント機の各部の名称を説明します。
	テレビ / モニターを接続する	☞ セットアップガイド	サーバー機とテレビ / モニターとの接続方法を説明します。
	日付と時刻を設定する	☞ MCX-1000 取扱説明書 182 ページ	日時の設定 (手動ならびに NTP サーバーを使った自動設定) を説明します。
	サーバー機とクライアント機を接続する	☞ セットアップガイド ☞ MusicCAST クイックマニュアル 13 ページ ☞ MCX-1000 取扱説明書 158 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 27 ページ	無線および有線でサーバー機とクライアント機を接続する方法を説明します。
MCX-1000 の使い方	外部機器と接続する	☞ セットアップガイド ☞ MCX-1000 取扱説明書 31 ページ	サーバー機にレコードプレーヤーや MD プレーヤーなどの外部機器を接続する方法を説明します。
	曲を録音する	☞ MCX-1000 取扱説明書 24 ページ	サーバー機に曲を録音する方法を説明します。
	曲を再生する	☞ MCX-1000 取扱説明書 36 ページ	サーバー機に録音した曲を再生する方法を説明します。
	曲を編集する	☞ MCX-1000 取扱説明書 60 ページ	サーバー機に録音した曲を編集する方法を説明します。
	オリジナル CD を作成する	☞ MCX-1000 取扱説明書 123 ページ	サーバー機に録音した曲からオリジナル CD を作る方法を説明します。
	タイマー機能を使う	☞ MCX-1000 取扱説明書 147 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 64 ページ	指定した時間に自動的に録音や再生を開始する方法を説明します。
Gracenote CDDB サービスのインターネットサイトに接続する	☞ セットアップガイド ☞ MCX-1000 取扱説明書 185 ページ	Gracenote CDDB サービスのインターネットサイトへ接続する方法を説明します。	
MCX-A10 の使い方	曲を再生する	☞ MCX-A10 取扱説明書 42 ページ	サーバー機に録音した曲をクライアント機から再生する方法を説明します。
	ブックマークを編集する	☞ MCX-A10 取扱説明書 51 ページ	サーバー機に録音した曲にクライアント機からブックマークを編集する方法を説明します。
	タイマー機能を使う	☞ MCX-1000 取扱説明書 147 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 64 ページ	指定した時間にクライアント機が自動的に再生する方法を説明します。
拡張機能、その他	ネットワークを手動で設定する	☞ MCX-1000 取扱説明書 165 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 34 ページ	MusicCAST ファームネットワークを手動で設定します。
	サーバー機内のデータの情報を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 203 ページ	サーバー機のファームウェアのバージョンを確認する方法を説明します。
	ヤマハ AV アンプの設定をする	☞ MCX-1000 取扱説明書 188 ページ	RS-232C (クロスタイプ) ケーブルを使ってサーバー機とヤマハ AV アンプを接続した場合にご利用になれる設定について説明します。
	クライアント機でラジオを聴く	☞ MCX-1000 取扱説明書 190 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 62 ページ	サーバー機とヤマハ AV アンプを RS-232C (クロスタイプ) ケーブルで接続し、クライアント機からラジオを聴く方法を説明します。
	システム設定	☞ MCX-1000 取扱説明書 179 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 72 ページ	キーボード設定や画面表示など MusicCAST 各種設定、その他の機能を設定します。
	故障かな? と思ったら	☞ MCX-1000 取扱説明書 205 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 79 ページ	MusicCAST ご使用中のトラブル時にご覧ください。
	用語解説	☞ MCX-1000 取扱説明書 212 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 82 ページ	マニュアル内で使われている用語について解説します。






マニュアル内の表記

マニュアル内でよく使われる表記について説明します。
それぞれの意味についてご理解いただき、本書をご活用ください。

用語

サーバー機	デジタルオーディオサーバー MCX-1000 のことです。
クライアント機	デジタルオーディオターミナル MCX-A10 のことです。
～キー	リモコン上のボタンを表します。
～ボタン	本体上のボタンを表します。

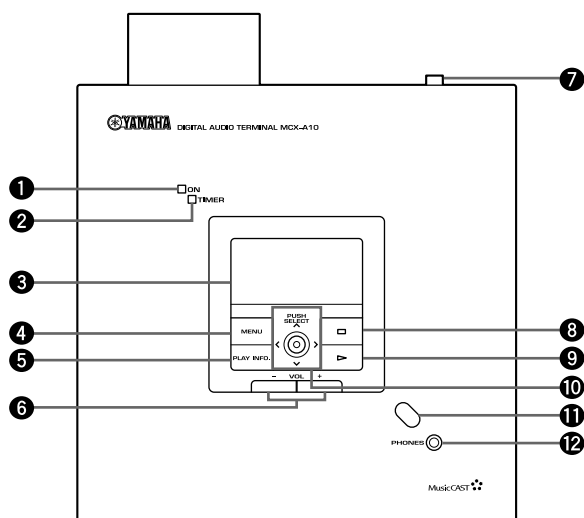
アイコン

	詳しい説明がある参照先を示しています。
	サーバー機のリモコンにあるキーを使って操作することを表します。
	クライアント機のリモコンにあるキーを使って操作することを表します。
	サーバー機のフロントパネルにあるボタンを使って操作することを表します。
	クライアント機のフロントパネルにあるボタンを使って操作することを表します。

MCX-1000取扱説明書、MCX-A10取扱説明書の巻末に用語解説を掲載しています。そちらもご覧ください。

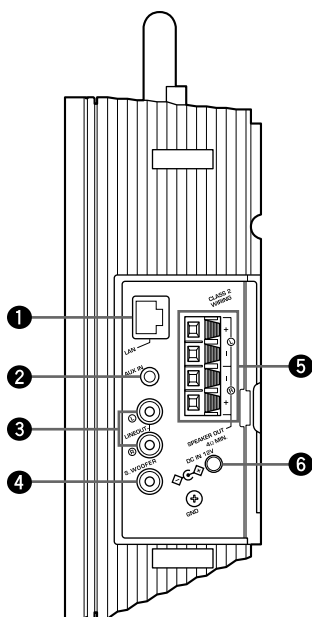
各部の名称と機能

▶ フロントパネル



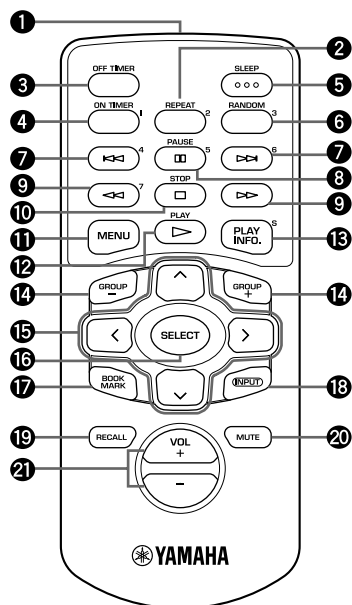
- ① **パワーインジケータ**
使用中のときに点灯します。
- ② **TIMERランプ**
クライアント機のタイマー機能が作動しているときに点灯します (P.64～66ページ)。
- ③ **ディスプレイ**
クライアント機のメニューを表示します。
- ④ **MENUボタン**
メニュー画面を表示します。
- ⑤ **PLAY INFO.ボタン**
再生情報画面を表示します。
- ⑥ **VOL +/-ボタン**
音量を調節します。
- ⑦ **STANDBY/ONスイッチ**
クライアント機のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ⑧ **□ (停止) ボタン**
曲の再生を停止します。
- ⑨ **▷ (再生) ボタン**
選択された曲を再生します。
- ⑩ **コントローラー**
コントローラーは、◀/▶ボタンと中央のSELECTボタンで構成されています。◀/▶ボタンでメニューや項目を選択し中央部のSELECTボタンを押し込んで操作を決定します。
- ⑪ **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。
- ⑫ **PHONES端子**
ヘッドホンを接続します。

▶ サイドパネル



- ❶ LAN端子
有線LAN接続のときにLANケーブルを差し込みます。
- ❷ AUX IN 端子
外部機器を入力します。
- ❸ LINEOUT L/R端子
外部機器に出力します。
- ❹ S.WOOFER端子
サブウーファーを接続します。迫力のある重低音を出力できます。
- ❺ SPEAKER OUT端子
スピーカーケーブルを接続します。
- ❻ DC IN 12V端子
電源アダプターを接続します。

▶ リモコン



① 赤外線発光部

赤外線信号を発信します。リモコンご使用時は赤外線発光部をクライアント機のリモコン受光部へ向けます。

② REPEATキー

リピート再生モードを切り替えます。

③ OFF TIMER

オフタイマー機能の時間を切り替えます。

④ ON TIMER

オンタイマー機能のオン/オフを切り替えます。

⑤ SLEEPキー

クライアント機のスリープ/オンを切り替えます。

⑥ RANDOMキー

ランダム再生のオン/オフを切り替えます。

⑦ ◀◀ (スキップ戻し) キー / ▶▶ (スキップ送り) キー

再生しているグループ内の前の曲、または次の曲へスキップします。

⑧ ||| PAUSEキー

再生中の曲を一時停止します。もう1度押すと一時停止を解除します。

⑨ ◀◀ (巻き戻し) キー / ▶▶ (早送り) キー

再生中の曲を巻き戻し/早送りします。

⑩ □ STOPキー

再生中の曲を停止します。

⑪ MENUキー

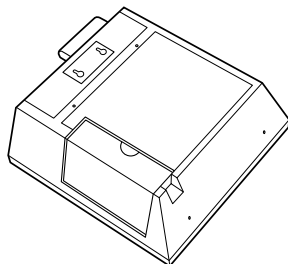
メニューページを表示します。

-
- ⑫ **▷ PLAYキー**
選択した曲を再生します。
 - ⑬ **PLAY INFO.キー**
再生情報画面を表示します。
 - ⑭ **GROUP ⇐キー / GROUP ⇨キー**
前の再生グループ / 次の再生グループを選択します。
 - ⑮ **^ / < / v / > (カーソル) キー**
^ / < / v / > キーでメニューや項目を選択します。
< キーを押すと1つ前の画面に戻ります。再生情報画面で > キーを押すとサブメニューが表示されます。
 - ⑯ **SELECTキー**
操作を決定します。
 - ⑰ **BOOKMARKキー**
ブックマークのオン / オフをします (51～54ページ)。
 - ⑱ **INPUTキー**
サーバー機からの入力信号とAUX IN端子からの入力信号を切り替えます。
 - ⑲ **RECALLキー**
現行のクライアント機では機能しません。今後のファームウェアのバージョンアップにより機能が割りあてられる予定です。
 - ⑳ **MUTEキー**
出力音を消します。もう一度押すと消音を解除します。
 - ㉑ **VOL ⇨ / ⇩ キー**
音量を調節します。

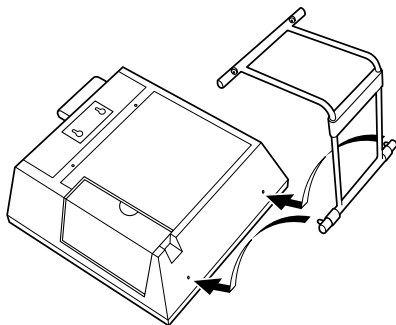
クライアント機のセットアップ

▶ 縦置きスタンド（付属品）を取り付ける

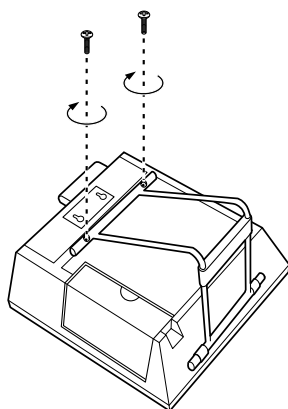
1 クライアント機を伏せた状態にします。



2 スタンドのピン（2箇所）をクライアント機の下部にある穴にはめ込みます。



3 付属のネジでスタンドのもう片方のバーを固定します。

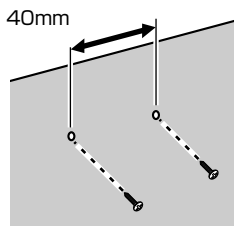


作業にあたって

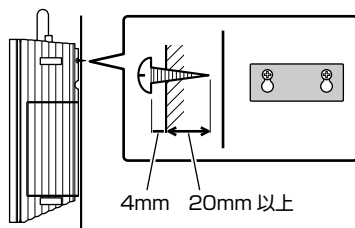
- ▶ クライアント機の下にやわらかい布を敷くなどしてディスプレイに傷がつかないようにしてください。
- ▶ スタンドを取り付ける前にドライバーを準備してください。

▶ クライアント機を壁に取り付ける

1 壁にタッピンネジを差し込みます。

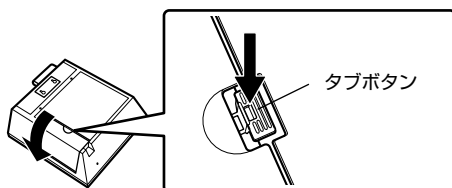


2 タッピンネジにクライアント機を取り付けます。



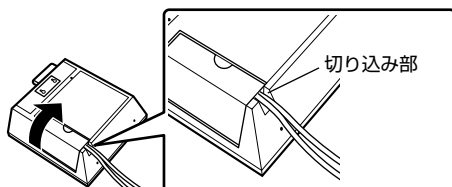
▶ サイドパネルカバーを取り外す

サイドパネルカバーのタブボタンを押し、取り外します。



▶ サイドパネルカバーを取り付ける

ケーブルを切り込み部に収納し、取り付けます。



作業にあたって

タッピンネジ（直径：3.5～4mm）は別途市販品のを準備してください。

ご注意

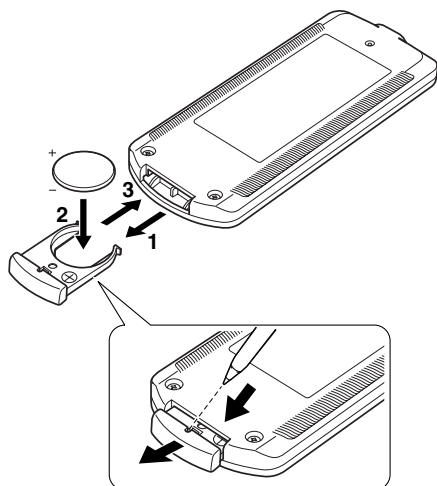
- ▶ クライアント機の重量は、約2 kgです。
薄いベニヤ板や表面がやわらかい材質の壁には取り付けないでください。ネジがゆるみ、クライアント機が落下して故障したり、けがをする恐れがあります。
- ▶ くぎや接着剤などタッピンネジ以外を使って取り付けしないでください。長期間の使用や振動により、クライアント機が落下して故障したり、けがをする恐れがあります。
- ▶ ケーブルは壁や床にしっかりと固定してください。たるんだケーブルでつまづく恐れがあります。
- ▶ タッピンネジは水平に40mmの間隔をあけて差し込んでください。

ご注意

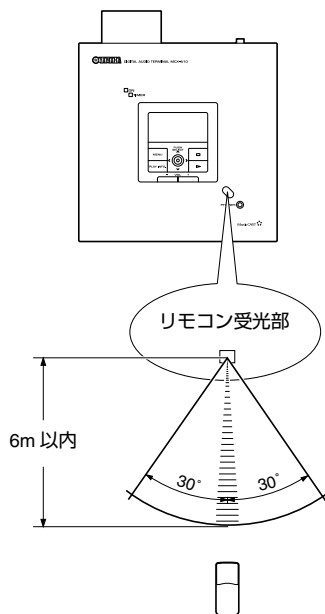
ケーブルを挟み込まないように、サイドパネルカバーを取り付けてください。

▶ リモコンに電池をセットする

- 1 ボールペンの先のようなとがったもので電池ケースの穴を押しなが
ら、電池ケースを引き出します。
- 2 電池ケースにリチウム電池のプラス (+) 面を上にしてセットし
ます。
- 3 カチッと音がするまで電池ケースを差し込みます。



■ リモコンで操作できる範囲



ご注意

リチウム電池について

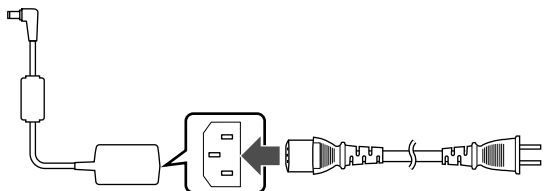
- ▶ 漏液、発熱、破裂、発火の原因となりますので必ず守ってください。
 - ・ 分解しないでください。
 - ・ 充電しないでください。
 - ・ 直射日光のあたる場所など高温の場所に放置しないでください。
 - ・ 電池の極性（プラスとマイナス）を正しくセットしてください。
- ▶ 万が一液漏れした場合
 - ・ 皮膚に付着するとやけどのおそれがあります。ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
 - ・ 液が付着した衣類などには触らないでください。
- ▶ 保管にあたって
 - ・ お子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。
 - ・ あやまって飲み込んでしまったときは、すぐに吐かせるなどの処置をしてください。
- ▶ 廃棄にあたって
 - ・ テープなどで絶縁し、火気のない場所に処分してください。
 - ・ 地域の条例に従って、処分してください。
- ▶ 電池交換にあたって
 - ・ CR2025型をご使用ください。
- ▶ 交換時期
 - ・ リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池の交換時期です。

ご注意

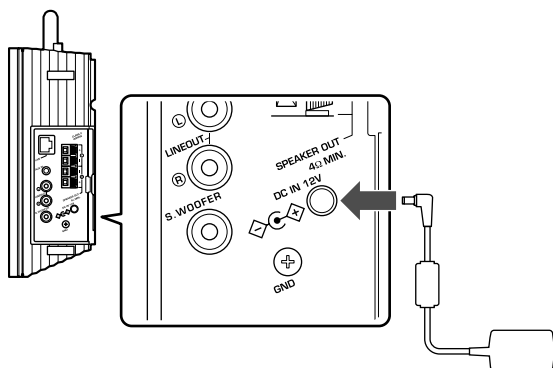
- ▶ 本機のリモコン操作によって誤作動する機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- ▶ リモコンにお茶や水をこぼさないでください。
- ▶ ストープのそばや風呂場など、温度、湿度の高いところにリモコンを放置しないでください。
- ▶ リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。誤作動の原因となります。

▶ 電源アダプターを接続する

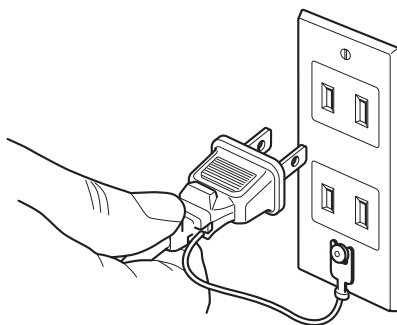
1 電源アダプターに電源コードを差し込みます。



2 サイドパネルのDC IN 12V端子に電源アダプターを接続します。



3 電源プラグをACコンセントに差し込みます。



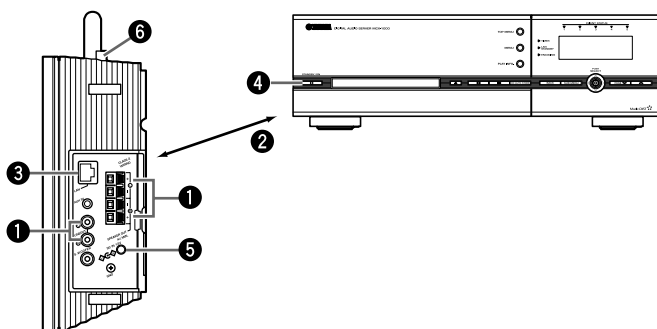
ご注意

- ▶ クライアント機にスピーカーなどの接続が終了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ▶ コンセントにアース端子が付いている場合は、アースコードを接続します。

▶ サーバー機とクライアント機の接続を確認する

クライアント機をお使いになる前に下記の項目をご確認ください。

- ① クライアント機にスピーカーまたはアンプを接続しましたか？（ヘッドホンを使う場合には必要ありません）
- ② 無線ネットワーク接続でサーバー機に接続したい場合、サーバー機から適切な範囲内にクライアント機を設置していますか？（[P.28](#)ページ）
- ③ 有線ネットワーク接続でサーバー機に接続したい場合、サーバー機が接続されているネットワーク上のハブに接続しましたか？（[P.29](#)ページ）
- ④ サーバー機の電源が入っていますか？
- ⑤ クライアント機の電源は、コンセントに差し込まれていますか？
- ⑥ クライアント機の電源が入っていますか？



クライアント機の電源モードについて

クライアント機の電源モードは3種類あります。

電源モード	説明
スタンバイ	電源がオフになっている状態です。電源プラグがコンセントに差し込まれ、STANDBY/ON スイッチが押し上げられています。
スリープ	待機状態（省電力モード）です。電源プラグがコンセントに差し込まれ、STANDBY/ON スイッチが押し下げられています。パワーインジケータは点灯します。またディスプレイは消灯し時刻が表示されます。クライアント機は操作できない状態ですが、SELECT キーを押すとオンになります。
オン	電源が入っていて、クライアント機を操作できる状態です。電源プラグがコンセントに差し込まれ、STANDBY/ON スイッチが押し下げられている状態です。パワーインジケータは点灯します。またディスプレイは点灯しメニューが表示されます。

▶ スタンバイからオンにする

1 STANDBY/ON ボタンを押します。

クライアント機がオンになります。

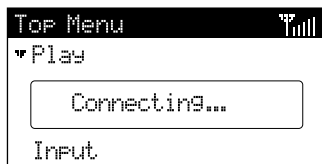
2 クライアント機からサーバー機に接続を開始します。

スタートアップ画面に続いて接続中画面が表示されます。

スタートアップ画面



接続中画面



3 接続が完了するとTop Menu画面に戻ります。

画面右上にネットワーク接続アイコンが表示されます。



ご注意

オン状態のクライアント機で再生を停止し、何も操作をしなくなってから30分間たつとスリープに切り替わります。

接続ができないときは

接続ができない場合、「Connecting…」というメッセージを表示し続けます。▲/▼ボタンでメッセージを消し、ネットワーク設定を確認してください(☞31ページ)。

▶ クライアント機の画面

クライアント機にはさまざまな機能や設定があります。ディスプレイ画面でメニューや機能の設定を確認し操作を行います。

■ トップメニュー



① メニュー名

② カーソル

③ ネットワーク接続アイコン

ネットワークの状況をアイコンで表示します。

④ ロックアイコン

サーバー機からクライアント機をロックできます。クライアント機をロックすると、ロックアイコンが表示されクライアント機では停止、音量の調節、ミュート機能以外の操作はできなくなります。

⑤ 選択項目

①のメニュー名に含まれる項目が表示されます。

リモコンやボタンでカーソルをスクロールして次の項目を表示できます。

ネットワーク接続アイコンについて

アイコン	説明
	有線ネットワーク接続アイコンは、クライアント機とサーバー機の有線ネットワークが正しく接続されたときに表示されます。
	無線ネットワーク接続アイコンは、クライアント機とサーバー機の無線ネットワークが正しく接続されたときに表示されます。無線ネットワーク接続アイコンの右にあるバーの数が多いほど受信信号は強くなります。
	受信不可能アイコンは、サーバー機からの信号が受信できないときに表示されます。

ご注意

Recall Play

現行のクライアント機では機能しません。今後のファームウェアのバージョンアップにより機能が割りあてられる予定です。

ご注意

ロックの解除

クライアント機がロックされると、ディスプレイ上部の黒い帯の部分にロックアイコンが表示されます。ロックの解除はサーバー機から行います(☞MCX-1000取扱説明書142ページ)。

ご注意

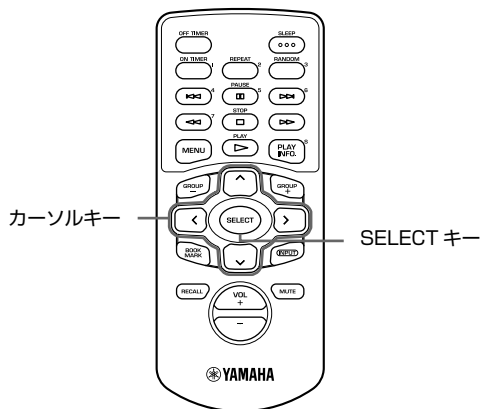
受信不可能アイコンが表示された場合は、有線ネットワーク接続に切り替えるかクライアント機の場所をサーバー機に近付けたり、クライアント機とサーバー機の間にある障害物を移動させるなどの対策をしてください。

▶ クライアント機の操作について

クライアント機の操作は、付属のリモコンもしくはフロントパネル上のボタンから行います。

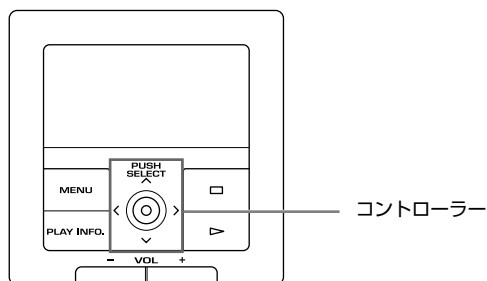
■ リモコン

リモコンの $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ キーでディスプレイ内のカーソルを上下左右に動かしてお好みのメニューや項目を選択します。選択後SELECTキーを押して決定します。



■ コントローラー

コントローラーの $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンでディスプレイ内のカーソルを上下左右に動かしてお好みのメニューや項目を選択します。選択後SELECTボタンを押して決定します。



リモコン操作について

本書で説明している操作はリモコンから行うことを前提としています。クライアント機の基本操作は本体フロントパネル上のボタンからでも行えますが、機能によってはリモコンからでしか操作できないものがあります。

■ 本書での操作説明について

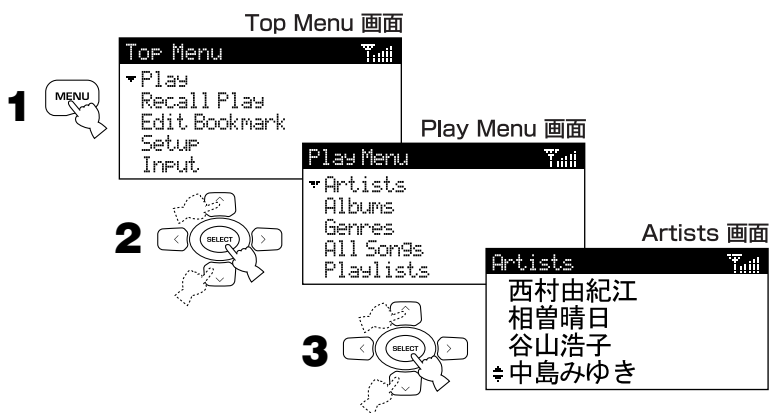
本書内の手順説明箇所では、多くの操作で何度も繰り返し用いられる操作を省略して表記しています。

■ 省略操作手順の表記例

[Top Menu] → [Play] → [Artists] を選択し Artists 画面を表示します。

■ 実際の操作手順

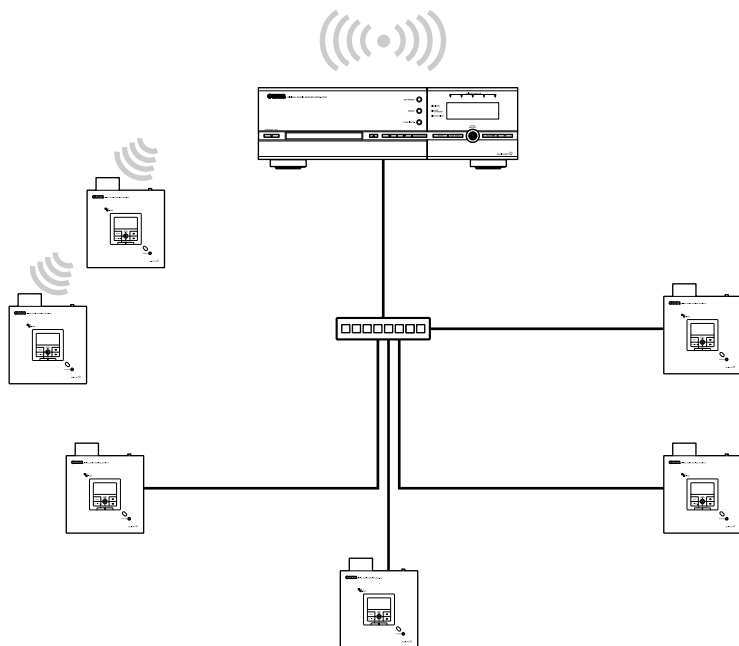
- 1** リモコンのMENUキーを約2秒押しTop Menu画面を表示します。
- 2** Top Menu画面から \blacktriangleleft / \blacktriangleright キーでPlayを選択しSELECTキーを押します。
Play画面が表示されます。
- 3** Play画面から \blacktriangleleft / \blacktriangleright キーでArtistsを選択しSELECTキーを押します。
Artists画面が表示されます。



ネットワーク (LAN) の設定をする

サーバー機とクライアント機の接続方法には、無線ネットワーク接続と有線ネットワーク接続の2種類があります。無線ネットワーク接続では最大5台、有線ネットワーク接続では最大7台のクライアント機が接続できますが、サーバー機に同時に接続できるクライアント機の総数は7台までです。例えば、無線ネットワーク接続を使って5台のクライアント機を接続したら、有線ネットワークでは残り2台のクライアント機が接続できます。

MusicCASTシステムをお使いになる前に、サーバー機とクライアント機を接続します。通常、この接続をするにはネットワーク自動設定で設定できます(☞30ページ)。



ご注意

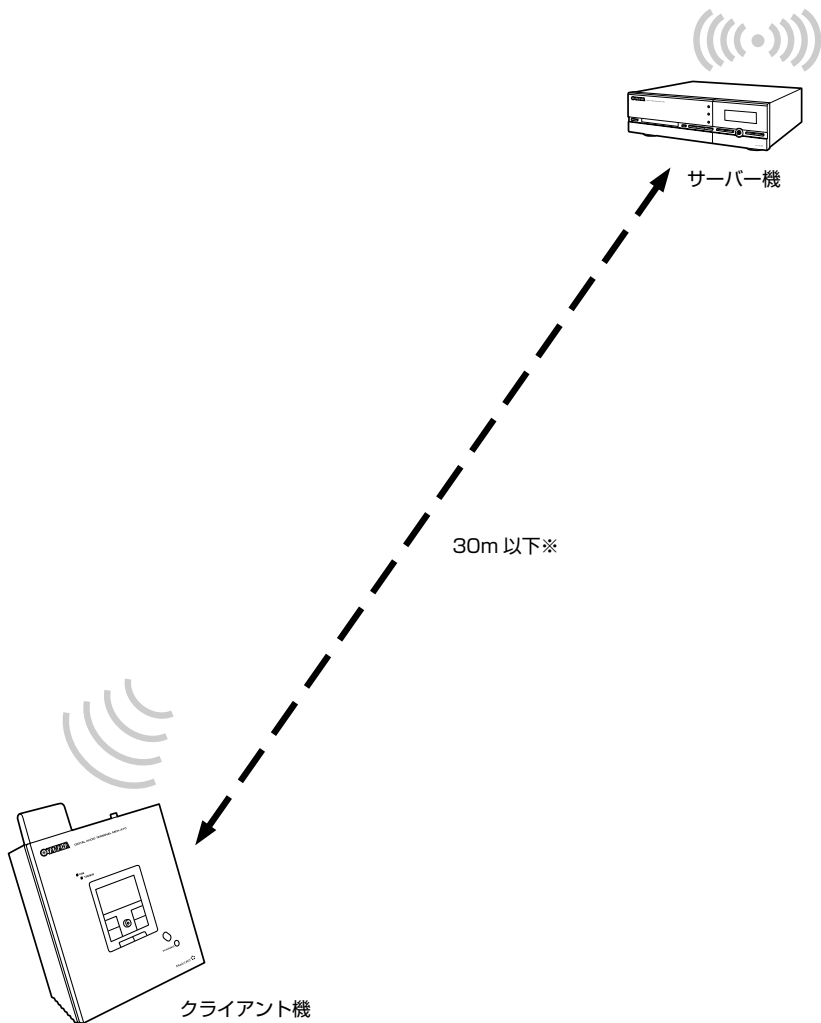
MusicCAST システムは同一サブネット内でのみ動作します。サブネットが違う場合、サーバー機とクライアント機の間で曲の送受信はできません。

インターネットに接続する場合

MusicCASTシステムをインターネットに接続する場合は、ブロードバンドルーターをご使用ください。

無線ネットワーク接続

無線ネットワーク接続を使えばサーバー機とクライアント機をLANケーブルで接続することなく、お好みの場所にクライアント機を設置できます。無線ネットワーク接続を使って最大5台のクライアント機が接続できます。無線ネットワーク接続での通信可能距離はサーバー機から半径約30mです（障害物がない場合）。



※お使いになる環境によって通信可能距離は変わります。

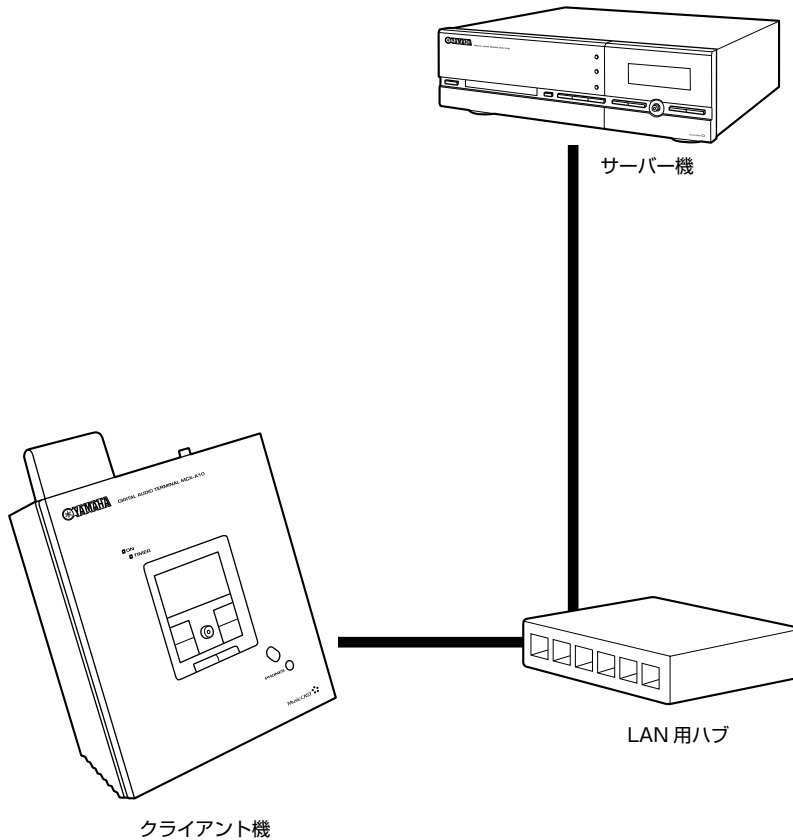
ご注意

厚い壁、鉄製のラックやテレビ、電子レンジ、無線信号を発信する携帯電話などの機器は、MusicCASTシステムの無線信号を妨害するおそれがあります。このような場合、クライアント機の位置を変えるか、有線ネットワーク接続にしてください。

有線ネットワーク接続

有線ネットワーク接続は、ハブを中継してサーバー機とクライアント機をLANケーブルで接続します。無線ネットワーク接続の通信可能距離（約30m）を越えてクライアント機を接続したい場合や、無線ネットワークの信号が他の機器によって妨害される可能性がある場所にクライアント機を設置したいときなどにご利用ください。

有線ネットワーク接続を使って最大7台のクライアント機が接続できます。



ハブの必要性

LAN用ハブはネットワーク上の複数の機器から信号を受信し、適切な目的地に送信します。よって、同じネットワーク上の機器間でデータを送受信することができます。

ネットワークの自動設定

ネットワーク自動設定機能を使えば、簡単に素早くサーバー機とクライアント機を接続できます。

▶ ネットワーク設定をする

ネットワーク自動設定をする前に以下の設定を行ってください。

- サーバー機の電源をオンにしてください。
- 無線接続を利用する場合、クライアント機とサーバー機が無線信号を送受信できる距離に設置してください。
- クライアント機の電源をオンにしてください。

既存のネットワークにMusicCASTシステムを導入する場合で、そのネットワークにDHCPサーバーが存在しないときは、以下の設定を行ってください。

- サーバー機のIPアドレスを設定します (☞MCX-1000取扱説明書 166ページ)。デフォルト設定は 192.168.1.1 です。
- サーバー機をDHCPサーバーとして設定します。デフォルト設定では、サーバー機がDHCPサーバーとして設定されています (☞MCX-1000取扱説明書 169ページ)。
- サーバー機が提供しているDHCPサービスの開始IPアドレスを設定します (☞MCX-1000取扱説明書 169ページ)。デフォルトの開始アドレスは 192.168.1.2 です。




以下の設定では、サーバー機およびクライアント機の本体にあるボタンを使い操作します。

▶ サーバー機とクライアント機を自動で接続する

サーバー機および接続したいクライアント機の両方で、ネットワーク自動設定を行います。

ネットワーク自動設定は、以下の手順で行います。

■ サーバー機の設定 (☞MCX-1000取扱説明書 161ページ)

1. 本体フロントパネルのTOP MENUボタンを押しトップメニュー画面を表示します。
2. ボタンで「システム設定」を選択しSELECTボタンを押します。
3. ボタンで「ネットワーク」を選択しSELECTボタンを押します。
4. ボタンで「自動設定」を選択しSELECTボタンを押します。
5. 画面の説明を確認したうえでOKならばSELECTボタンを押します。

サーバー機が自動設定モードに移行します。サーバー機とクライアント機で行われている再生はすべて自動的に停止します。

サーバー機の設定について

サーバー機がDHCPサーバーとして設定されていない場合
☞MCX-1000取扱説明書 169ページ

ご注意

- ▶ 初期設定ではサーバー機はDHCPサーバーとして設定されていますのでクライアント機を設定しただけでネットワーク自動設定ができます。
- ▶ ブロードバンドルーターを使ってサーバー機をインターネット、またはLANに接続させたいときは、自動設定を行う前にサーバー機をDHCPクライアントとして設定してください (☞MCX-1000取扱説明書 169ページ)。

DHCP サーバーとは？

ネットワーク上の機器に自動的にIPアドレスを割りあてる機器です。

DHCP クライアントとは？

ネットワーク機器をオンにするたびに、DHCPサーバー (DHCPサービスを提供しているネットワーク上の機器) からIPアドレスを取得します。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するためには、機器をDHCPクライアントとして設定する必要があります。

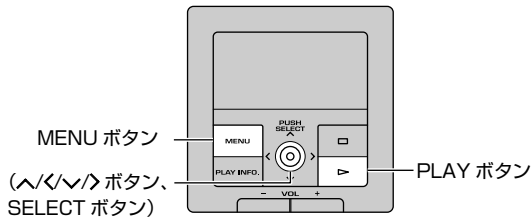
ネットワークの自動設定にあたって

ネットワーク自動設定の操作は、サーバー機とクライアント機を一箇所に集めて行うと便利です。

ご注意

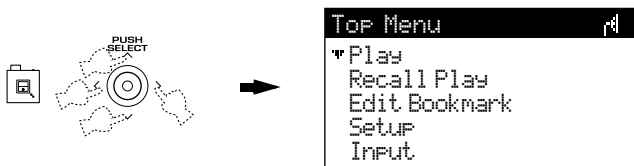
サーバー機およびクライアント機の誤作動を避けるために、ネットワーク自動設定の操作は、リモコンを使わず本体フロントパネル上のボタンから行ってください。

■ クライアント機の設定



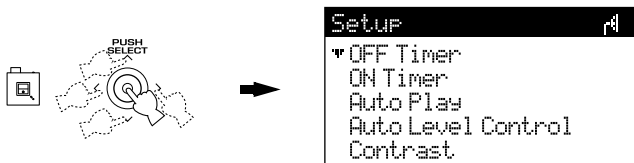
- 1 クライアント機のフロントパネルの \wedge / \vee / \leftarrow / \rightarrow ボタンを上下左右に動かし画面上の「Connecting...」の表示を消します。

Top Menu画面が表示されます。



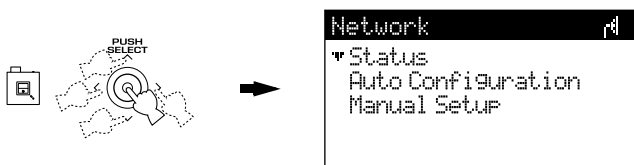
- 2 \wedge / \vee / \leftarrow / \rightarrow ボタンで「Setup」を選択しSELECTボタンを押します。

Setup画面が表示されます。



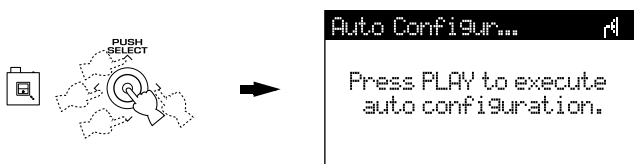
- 3 \wedge / \vee / \leftarrow / \rightarrow ボタンで「Network」を選択しSELECTボタンを押します。

Network画面が表示されます。



- 4 \wedge / \vee / \leftarrow / \rightarrow ボタンで「Auto Configuration」を選択しSELECTボタンを押します。

Auto Configuration画面が表示されます。



ご注意

クライアント機は、電源をオンにすると自動的にサーバー機へ接続を開始します。ネットワーク設定をしていない状態でクライアント機の電源をオンにすると、クライアント機の画面に接続中を表す「Connecting...」が表示されます。

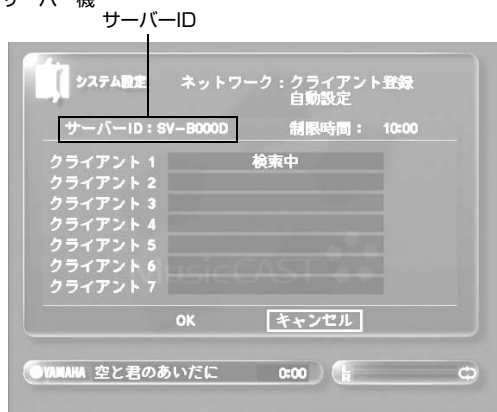
5 PLAY ▶ ボタンを押します。

ネットワーク自動設定が始まり、以下の画面が表示されます。

クライアント機



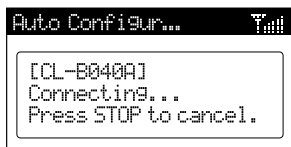
サーバー機



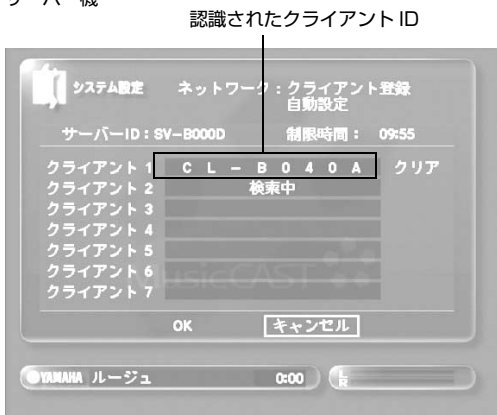
複数のサーバー機が検索されたときは接続するサーバー機を指定してください。接続するサーバー機のサーバーIDは、サーバー機の自動設定画面（上図）の「サーバーID:SV-xxxxx」で確認できます。

サーバー機がクライアント機を認識すると以下の画面が表示されます。

クライアント機



サーバー機



ご注意

クライアント機がサーバー機を検索する際の、アクセス制限時間は10分間です。10分以内に操作が終了しない場合、サーバー機は設定内容を登録せずにネットワーク自動設定を終了します。

ご注意

自動設定モードになっているサーバー機が複数存在している場合は、クライアント機の画面に複数のサーバーIDが表示されます。

クライアント機が複数ある場合

ネットワーク設定したいクライアント機が複数ある場合は、各クライアント機で手順1から5までの操作を繰り返してください。

ご注意

自動設定を行っても、以前に登録されたクライアント機は削除されません。ネットワーク上に存在するクライアント機のIDは青色で表示されます。

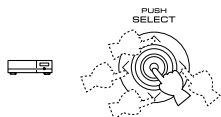
ネットワーク設定を中止する

サーバー機の場合
サーバー機の画面で「キャンセル」を選択してからSELECTボタンを押してください。
クライアント機の場合
□ (STOP) ボタンを押してください。

6 サーバー機のへく/ゝ/>ボタンで「OK」を選択しSELECTボタンを押します。

設定内容を保存し、ネットワーク自動設定を終了します。

サーバー機



クライアント機



ネットワークの手動設定

ここではサーバー機とクライアント機のネットワーク設定を手動で行う方法を説明します。ネットワーク自動設定が完了している場合、手動設定は必要ありません。

▶ ネットワーク設定をするまえに

- 無線ネットワーク接続する場合はクライアント機とサーバー機が無線信号を送受信できる距離に設置してください。
- サーバー機の電源をオンにしてください。
- クライアント機の電源をオンにしてください。

■ サーバー機に設定する内容 (☞MCX-1000 取扱説明書 165 ページ)

- ・ クライアント登録：接続するクライアント機のクライアントIDを設定します (☞MCX-1000 取扱説明書 177 ページ)。
- ・ IPアドレス：DHCPサーバーが設置されている場合は、「IPアドレス」を設定する必要はありません。「IPアドレス」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください (☞MCX-1000 取扱説明書 166 ページ)。
- ・ 無線LAN：無線ネットワーク接続する場合は、ESS ID (☞MCX-1000 取扱説明書 170 ページ)、チャンネル (☞MCX-1000 取扱説明書 172 ページ)、WEPキー (☞MCX-1000 取扱説明書 173 ページ) を設定します。
- ・ DHCP：DHCPサーバーが設置されている場合は、「DHCP」の設定をオフにします (☞MCX-1000 取扱説明書 169 ページ)。

■ クライアント機に設定をする内容

- ・ Mode：有線ネットワーク接続する場合は、Autoに設定します (☞35 ページ)。
- ・ Server ID：接続するサーバー機のサーバーIDを設定します (☞MCX-1000 取扱説明書 175 ページ)。
- ・ DHCP：DHCPサーバーが設置されている場合は、「DHCP」をオンにします (☞37 ページ)。
- ・ IP Address：DHCPサーバーが設置されている場合は、「IP Address」を設定する必要はありません。「IP Address」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください (☞38 ページ)。
- ・ Subnet Mask：DHCPサーバーが設置されている場合は、「Subnet Mask」を設定する必要はありません。「Subnet Mask」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください (☞39 ページ)。
- ・ ESS ID：無線ネットワーク接続する場合は、サーバー機に設定されたESS IDを設定します (☞40 ページ)。
- ・ WEP key：無線ネットワーク接続する場合は、サーバー機に設定されたWEPキーを設定します (☞41 ページ)。

▶ Manual Setup画面を表示する

以降のページで説明するネットワーク手動設定に関するすべての操作はManual Setup画面から行います。以下の手順に従ってManual Setup画面を表示してください。

ご注意

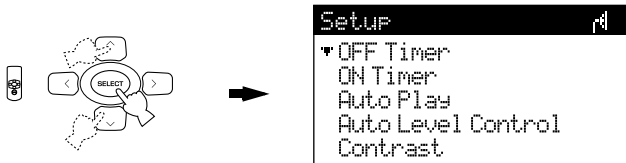
MusicCAST システムは同一サブネット内でのみ動作します。サブネットが違う場合、サーバー機とクライアント機の間で曲の送受信はできません。

1 MENUキーを約2秒間押します。

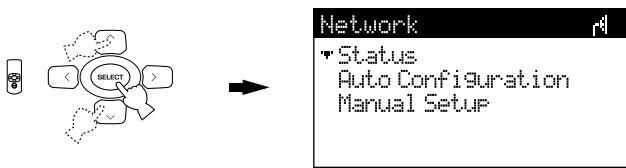
Top Menu画面が表示されます。

**2** ^/∨キーで「Setup」を選択しSELECTキーを押します。

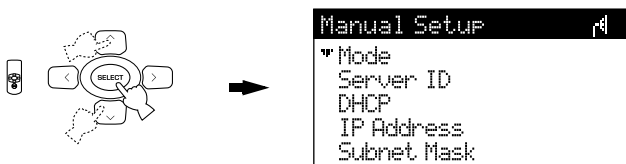
Setup画面が表示されます。

**3** ^/∨キーで「Network」を選択しSELECTキーを押します。

Network画面が表示されます。

**4** ^/∨キーで「Manual Setup」を選択しSELECTキーを押します。

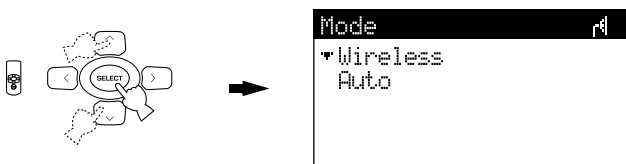
Manual Setup画面が表示されます。

**▶ ネットワークモードを設定する**

サーバー機との接続方法を設定します。サーバー機とクライアント機を有線ネットワーク接続でお使いになる場合は、この設定をAUTOにしてください。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択しManual Setup画面を表示します。**2** ^/∨キーで「Mode」を選択しSELECTキーを押します。

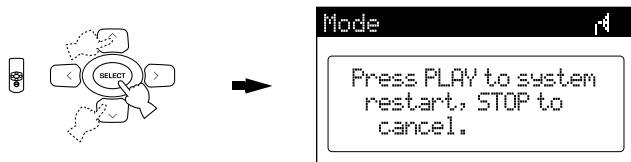
Mode画面が表示されます。



3 へ/√キーで「Wireless」または「Auto」を選択しSELECTキーを押します。

項目	説明
Wireless	サーバー機と無線ネットワーク接続する場合
Auto	サーバー機と有線/無線ネットワーク接続する場合

以下のメッセージが表示されます。



4 「Play」キーを押します。

再起動し、Top Menu画面に戻ります。



Auto を選択した場合

Autoを選択した場合は、自動で接続方法が選択されます。サーバー機とクライアント機がLANケーブルで接続されているときは、優先的に有線ネットワーク接続モードが選択されます。

操作を中止する場合

操作を中止するときはSTOPキーを押してください。

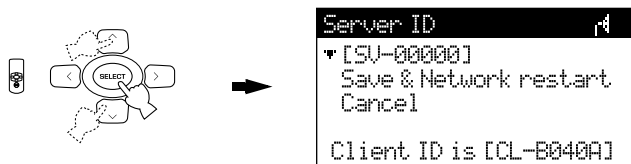
▶ Server IDを設定する

接続したいサーバー機のIDを手動で設定します。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup]を選択しManual Setup画面を表示します。

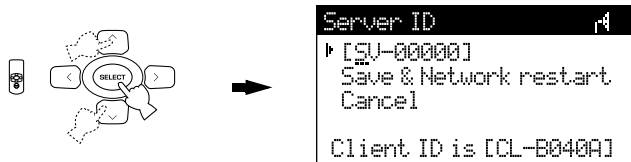
2 へ/√キーで「Server ID」を選択しSELECTキーを押します。

Server ID画面が表示されます。

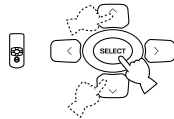


3 へ/√キーで「SV-00000」を選択しSELECTキーを押します。

Server ID画面が表示されます。



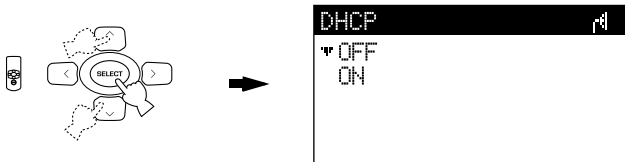
- 4** へ/✓キーで文字を選択し、</>キーを押して次の文字を選択します。
サーバー機の Server ID と同じ ID を入力してください。
- 5** サーバー ID を入力し終わったら、SELECT キーを押して設定します。
- 6** へ/✓キーで「Save & Network restart」を選択し SELECT キーを押します。
設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。



▶ DHCP を設定する

初期設定ではクライアント機は DHCP クライアントに設定されています。
IP アドレスを固定したい場合、DHCP 設定を OFF にし、手動で IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。

- 1** [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択し Manual Setup 画面を表示します。
- 2** へ/✓キーで「DHCP」を選択し SELECT キーを押します。
DHCP 画面が表示されます。



- 3** へ/✓キーで OFF または ON を選択し SELECT キーを押します。

項目	説明
OFF	クライアント機は、DHCP クライアントとしては作動しません。設定された IP アドレスを使用します。
ON	クライアント機の電源を入れるたびに DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。

設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。

ご注意

サーバー機の Server ID と同じ ID を入力してください。
Server ID は、サーバー機の IP アドレス画面で確認できます (MCX-1000 取扱説明書 175 ページ)。

操作を中止する場合

「Cancel」を選択して保存をせずにメニューを終了することもできます。

ご注意

クライアント機を DHCP クライアント機にする場合は、必ず LAN 内に DHCP サーバーが必要です。

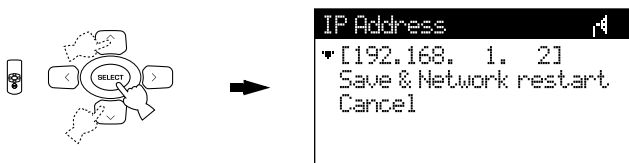
ご注意

サーバー機以外の DHCP サーバーをご利用の場合は、IP アドレスの有効期限がきれるときがあります。IP アドレスの有効期限がきれたら、いったんクライアント機の電源をスタンバイにし、再度電源をオンにする必要があります。

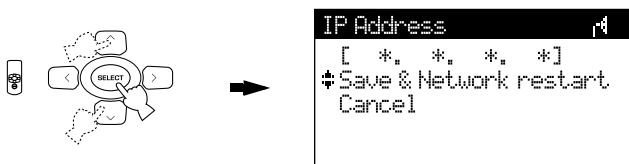
▶ IPアドレスを設定する

クライアント機に個別のIPアドレスを設定したいときは、手動でアドレスを入力します。

- 1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択し Manual Setup 画面を表示します。
- 2 上/下キーで「IP address」を選択し SELECT キーを押します。
IP address 画面が表示されます。



- 3 上/下キーで「192.168.1.2」を選択し SELECT キーを押します。
- 4 上/下キーで3桁のIPアドレスを選択し、左/右キーで次に設定するIPアドレスを選択します。
- 5 IPアドレスを入力し終わったら SELECT キーを押します。
- 6 上/下キーで「Save & Network restart」を選択し SELECT キーを押します。
設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。



*新しく入力した数値

ご注意

この設定は、クライアント機が DHCP クライアントとして動作しない場合にのみ適用されます (※37 ページ)。

IPアドレスとは?

IPアドレスは、MusicCAST システムの中で各機器 (サーバー機/各クライアント機) を識別するために必要な番号です。IPアドレスは「192.168.1.1」のように4つの数字を使って表されます。またIPアドレスには、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの2種類があります (※83ページ)。

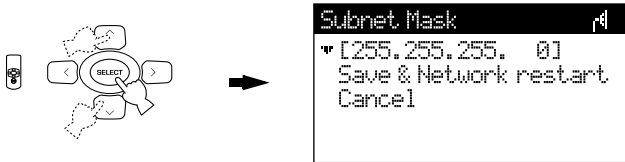
操作を中止する場合

「Cancel」を選択して保存をせずにメニューを終了することもできます。

▶ サブネットマスクを設定する

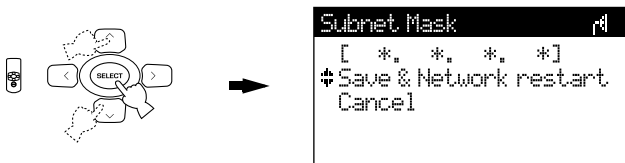
クライアント機に個別のサブネットマスクを設定したいときは、手動でアドレスを入力します。

- 1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択し Manual Setup 画面を表示します。
- 2 \wedge/\vee キーで「Subnet Mask」を選択し SELECT キーを押します。
Subnet Mask 画面が表示されます。



- 3 \wedge/\vee キーで「255.255.255.0」を選択し SELECT キーを押します。
- 4 \wedge/\vee キーで3桁のサブネットマスクを選択し、 \langle/\rangle キーを押して次に設定するサブネットマスクを選択します。
- 5 サブネットマスクを入力し終わったら SELECT キーを押します。
- 6 \wedge/\vee キーで「Save & Network restart」を選択し SELECT キーを押します。

設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。



*新しく入力した数値

ご注意

接続したいサーバー機に設定されたサブネットマスクと同じ値を入力してください。サーバー機のサブネットマスクは、サーバー機のIPアドレス画面で確認できます (MCX-1000取扱説明書175ページ)。

ご注意

この設定は、クライアント機がDHCPクライアントとして作動しない場合に限ります (MCX-37ページ)。

操作を中止する場合

「Cancel」を選択して保存をせずにメニューを終了することもできます。

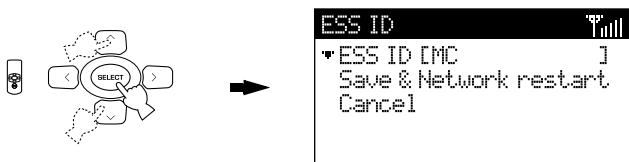
▶ ESS IDを設定する

無線ネットワークでは各機器間の通信に電波を使用しますので、混信を避けるためにESS IDとよばれる識別子を設定する必要があります。同じグループのサーバー機とクライアント機には同じESS IDを設定します。

あらかじめ工場出荷時には、サーバー機ごとにESS IDが設定されています。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択し Manual Setup 画面を表示します。

2 上/下キーで「ESS ID」を選択し SELECT キーを押します。
ESS ID 画面が表示されます。



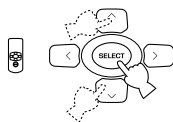
3 上/下キーで「ESS ID」を選択し SELECT キーを押します。

4 上/下キーで文字を選択し、</>キーを押して次の文字を選択します。

5 IDを入力し終わったら SELECT キーを押します。

6 上/下キーで「Save & Network restart」を選択し SELECT キーを押します。

設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。



ご注意

必ずサーバー機に設定したESS IDと同じIDを入力してください。
サーバー機のESS IDは、サーバー機の無線ネットワーク画面で確認できます (MCX-1000 取扱説明書 170 ページ)。

操作を中止する場合

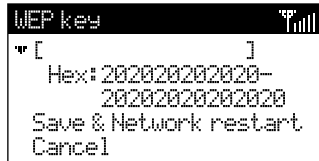
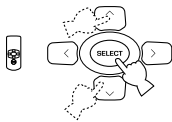
「Cancel」を選択して保存をせずにメニューを終了することもできます。

▶ WEPキーを設定する

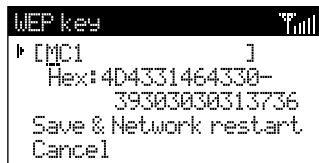
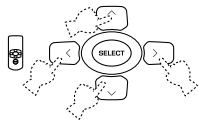
無線ネットワークでは、セキュリティ対策としてクライアント機とサーバー機に、それぞれ同じ暗号化キー (WEPキー) を設定する必要があります。

WEPキーを設定するとWEPキーが一致する端末間でのみデータを送受信できます。

- 1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択し Manual Setup 画面を表示します。
- 2 \wedge/\vee キーで「WEP key」を選択し SELECT キーを押します。
WEP key 画面が表示されます。



- 3 \wedge/\vee キーで「[]」を選択し SELECT キーを押します。
WEP key 設定画面が表示されます。
- 4 \wedge/\vee キーで文字を選択し、 \langle/\rangle キーを押して次の文字を選択します。



- 5 WEPキーを入力し終わったら SELECT キーを押して設定を確認します。
- 6 \wedge/\vee キーで「Save & Network restart」を選択し SELECT キーを押します。
設定が保存され、Manual Setup 画面に戻ります。

ご注意

接続したいサーバー機と同じ WEP キーを入力してください。サーバー機の WEP キーは、サーバー機の無線ネットワーク画面で確認できます (MCX-1000 取扱説明書 170 ページ)。

ご注意

MusicCAST ネットワークでは、13 文字 (128 ビット) の WEP キーを採用しています。入力した WEP キーが 13 文字未満の場合は自動的にゼロが追加され、13 文字になります。

操作を中止する場合

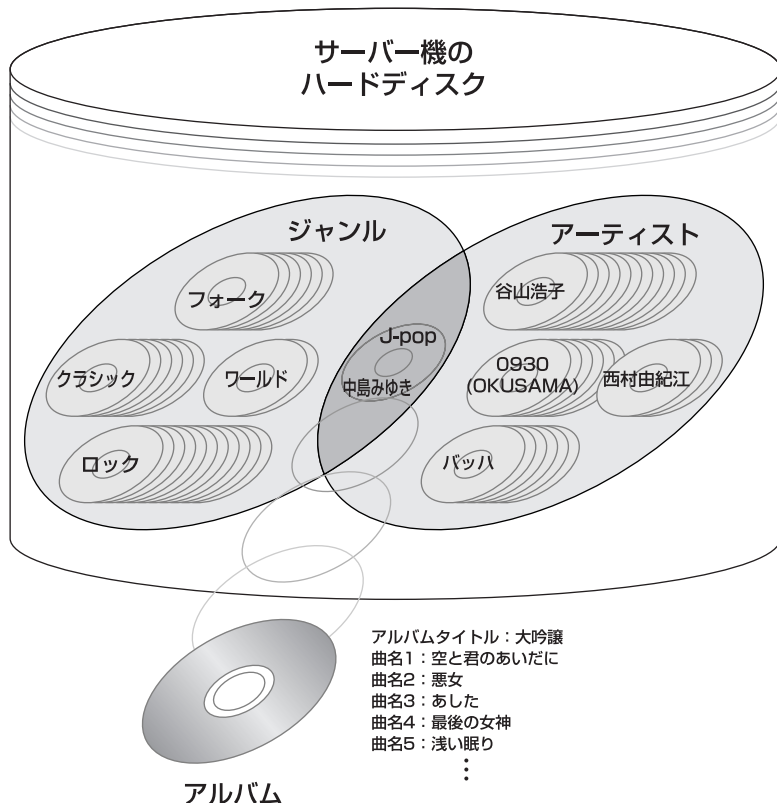
「Cancel」を選択して保存をせずにメニューを終了することもできます。

再生する

クライアント機ではサーバー機に保存した曲を有線または無線ネットワーク経由で受信し再生します。

再生する曲は、曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などのグループから選択できます。

サーバー機のハードディスクに保存した曲のイメージ



曲のフォーマットについて

- ▶ 録音した曲は最初PCMフォーマットで録音されますが、その後自動的にMP3フォーマットに変換されます。
- ▶ 初期設定では、PCMとMP3の両フォーマットをサーバー機に録音するようになっています (MP3だけ保存する設定 (MCX-1000 取扱説明書 187ページ))。

PCM フォーマットとは

PCMフォーマットは、CDと同じ音質ですが、データ量が多くハードディスクのスペースを多く使用します。サーバー機で音楽を楽しむ場合やお好みのCDを作成したい場合にPCMフォーマットが用いられます。

MP3 フォーマットとは

MP3フォーマットは、圧縮データのためデータ量が少なくPCMフォーマットに比べより多くの曲 (最大約10倍) をハードディスクに保存できます。またクライアント機へは通常MP3フォーマットで曲を配信します。

PCM フォーマットの再生

クライアント機でPCMフォーマットの曲を再生したい場合は、PCMフォーマットで配信できるようにサーバー機の設定を変更してください (MCX-1000 取扱説明書 193ページ)。

再生する前に

クライアント機で曲を再生する場合は、クライアント機にスピーカーもしくはヘッドホンを正しく接続してください。

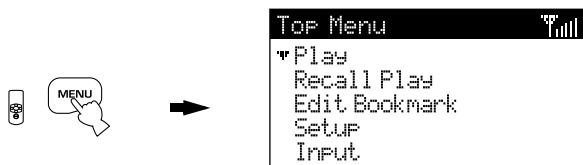
ご注意

「Network error」が表示されたら、クライアント機を再起動してください。

選曲する

1 MENUキーを約2秒間押します。

Top Menu画面が表示されます。

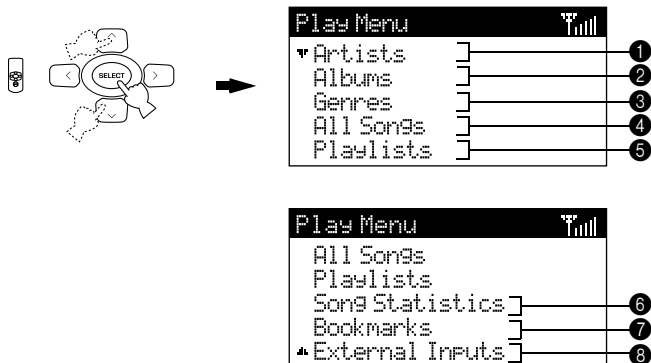


2 ^/∨キーで「Play」を選択しSELECTキーを押します。

Play Menu画面が表示されます。



3 Play Menu画面から^/∨キーでお好みの選曲方法を選択しSELECTキーを押します。



- ① アーティスト名から選曲し再生します (☞46ページ)。
- ② アルバム名から選曲し再生します (☞47ページ)。
- ③ ジャンル名から選曲し再生します (☞48ページ)。
- ④ 曲名から選曲し再生します (☞49ページ)。
- ⑤ お好みの曲のリスト (プレイリスト) から選曲し再生します (☞49ページ)。
- ⑥ 曲統計の中から再生します (☞50ページ)。
- ⑦ ブックマークリストから選曲し再生します (☞55ページ)。
- ⑧ サーバー機に接続した外部機器から再生します (☞61ページ)。

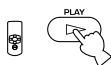
クライアント機の再生

クライアント機では通常MP3フォーマットのみの再生となりますので、サーバー機で録音直後の曲をクライアント機で再生する場合には、MP3フォーマットが作成されるまでしばらくお待ちください。

▶ 基本的なリモコン操作

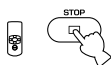
■ 再生を開始するには

PLAYキーを押します。



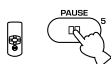
■ 再生を停止するには

STOPキーを押します。



■ 一時停止するには

PAUSEキーを押します。



■ 再生中のグループをスキップするには

再生中にGROUP SKIP+とGROUP SKIP-を押すとグループをスキップします。



例えば、再生グループが「Albums」のときに次のアルバムにスキップするには再生中にGROUP SKIP+を押します。同様に、前のアルバムにスキップするにはGROUP SKIP-を押します。

■ 別の曲にスキップするには

再生中に▶▶キーを押すと次の曲に、◀◀キーを1回押すと再生中の曲の頭に、2回押すと前の曲の頭にスキップします。



■ 早送り、巻き戻しをするには

再生中/一時停止中に早送りをするには▶▶キー、巻き戻しをするには◀◀キーを押します。

早送り、巻き戻し中に音声はできません。



■ メニュー画面を表示するには

MENUキーを押します。



■ 再生情報画面を表示するには

PLAYINFO. キーを押します。

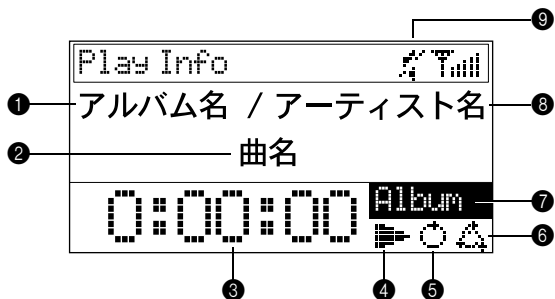


グループ単位の再生

グループとは再生する単位のことです。例えば、アルバムを選択して再生すれば、再生グループは「Albums」になり、ジャンルを選択すれば「Genres」になるといった具合にグループ単位の再生はそのグループ内のすべての曲を対象にしています。再生グループは再生情報画面に表示されます(▶▶45ページ)。

▶ 再生情報画面について

曲を再生すると再生情報画面が表示されます。再生情報画面は、再生中の曲の情報を表示します。



① アルバム名

アルバム名を表示します。

② 曲名

曲名を表示します。

③ タイムカウンター

曲の時間を表示します。

④ 動作モードアイコン

クライアント機の動作状態を表示します。

アイコン	説明
■	再生が停止しています。
▶	再生しています。
⏸	再生が一時停止しています。

⑤ リピートアイコン (☞56ページ)

リピート再生モードを表示します。

アイコン	説明
アイコンなし	リピート設定がオフの状態です。
🔄	選択しているグループ内の全曲を繰り返し再生します。
🔄	現在選択している曲を繰り返し再生します。

⑥ ランダム再生アイコン (☞57ページ)

ランダム再生モードのときに表示します。

⑦ グループ名

アーティスト、アルバム、ジャンル、全曲、プレイリストなどの再生グループを表示します。

⑧ アーティスト名

アーティスト名を表示します。

⑨ ミュートアイコン

消音しているときに表示します。

再生情報画面

再生中にMENUキーまたはクイックキーを押すとメニュー画面に戻ります。PLAY INFO.キーを押すと、曲の再生中でなくても再生情報画面を表示できます。

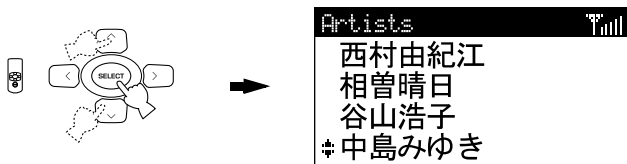
アーティストから曲を再生する

サーバー機に保存されている曲をアーティストから検索し再生します。

1 [Top Menu] → [Play]を選択しPlay Menu画面を表示します。

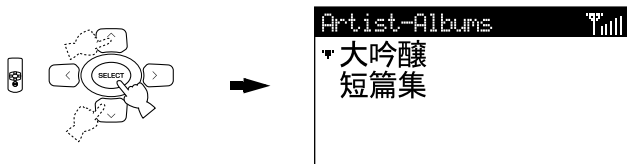
2 へ/√キーで「Artists」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機に保存されているすべてのアーティストが表示されます。



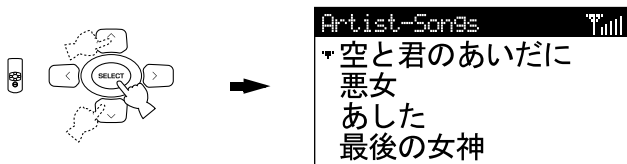
3 へ/√キーでお好みのアーティストを選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストのすべてのアルバムが表示されます。



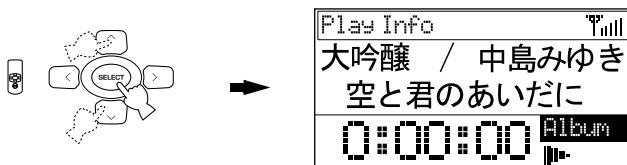
4 へ/√キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムのすべての曲が表示されます。



5 へ/√キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

曲の再生が始まります。



アーティスト単位で再生する場合

お好みのアーティストを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアーティストのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのアーティストのアルバムの曲順とは関係なく曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

曲を選択しなおす場合

←キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択しSELECTキーを押します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞45ページ)。

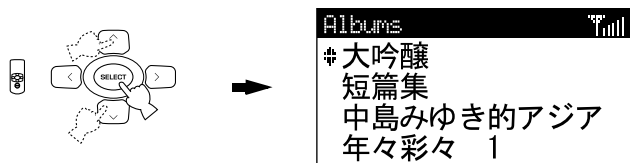
アルバムから曲を再生する

サーバー機に保存されている曲をアルバムから検索し再生します。

1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。

2 ^/∨キーで「Albums」を選択し SELECT キーを押します。

サーバー機に保存されているすべてのアルバムが表示されます。



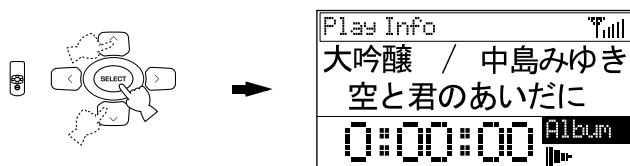
3 ^/∨キーでお好みのアルバムを選択し SELECT キーを押します。

選択したアルバムのすべての曲が表示されます。



4 ^/∨キーでお好みの曲を選択し SELECT キーを押します。

曲の再生が始まります。



アルバム単位で再生する場合

キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択し SELECT キーを押します。

曲を選択しなおす場合

<キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択し SELECT キーを押します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます (P.45 ページ)。

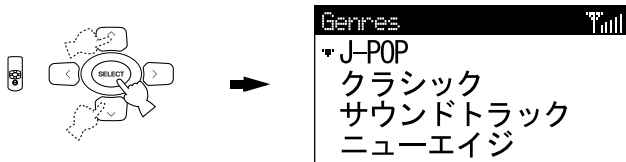
ジャンルから曲を再生する

サーバー機に保存されている曲をジャンルから検索し再生します。

1 [Top Menu] → [Play]を選択しPlay Menu画面を表示します。

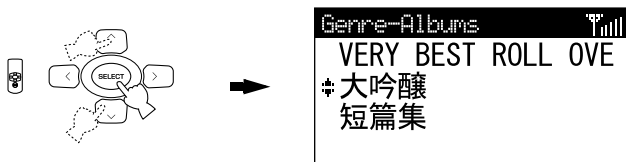
2 へ/√キーで「Genres」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機に保存されているすべてのジャンルが表示されます。



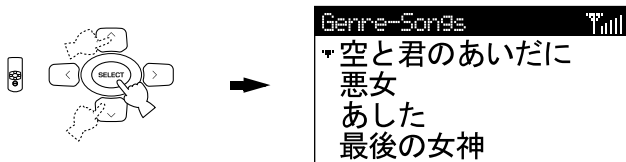
3 へ/√キーでお好みのジャンルを選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルのすべてのアルバムが表示されます。



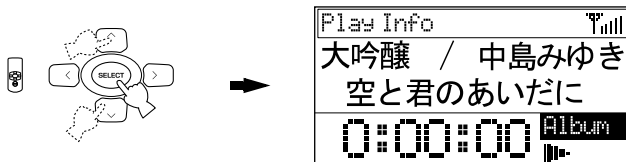
4 へ/√キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムすべての曲が表示されます。



5 へ/√キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

曲の再生が始まります。



ジャンル単位で再生する場合

お好みのジャンルを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのジャンルのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのジャンルに登録されたアルバムの曲順とは関係なく、曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

曲を選択しなおす場合

←キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択しSELECTキーを押します。

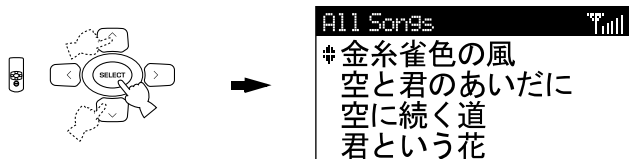
再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞45ページ)。

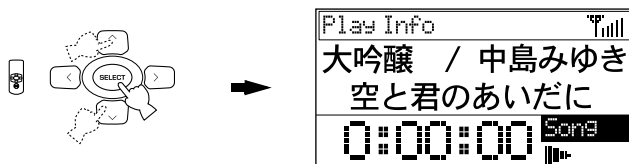
すべての曲の中から再生する

1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。

2 へ/へキーで「All Songs」を選択し SELECT キーを押します。
サーバー機に保存されているすべての曲が数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で表示されます。



3 へ/へキーでお好みの曲を選択し SELECT キーを押します。
選択した曲から最後の曲まで再生されます。

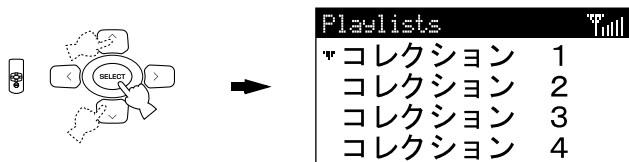


プレイリストの曲を再生する

サーバー機に登録されているプレイリストを検索し、プレイリストに登録した曲を再生します。

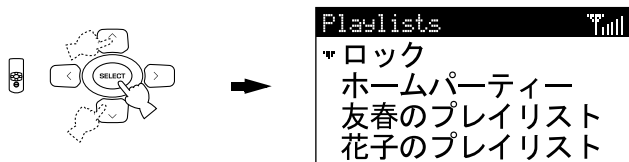
1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。

2 へ/へキーで「Playlists」を選択し SELECT キーを押します。
サーバー機に保存されているすべてのコレクションが表示されます。



3 へ/へキーでお好みのコレクションを選択し SELECT キーを押します。
選択されたコレクションのすべてのプレイリストが表示されます。

4 へ/へキーでお好みのプレイリストを選択し SELECT キーを押します。
選択されたプレイリストのすべてのリンクが表示されます。



曲を選択しなおす場合

←キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択し SELECT キーを押します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます (※45 ページ)。

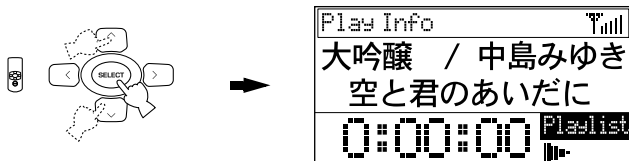
ご注意

クライアント機からはプレイリストを作成したり、変更したりできません。
あらかじめサーバー機にプレイリストを作成する必要があります (※MCX-1000取扱説明書 98 ページ)。

プレイリスト単位で再生する場合

お好みのプレイリストを選択した状態で PLAY キーを押すと、そのプレイリストのすべての曲が再生されます。この場合、プレイリストの先頭のリンクから順番に再生されます。

- 5** へ/√キーでお好みのリンクを選択しSELECTキーを押します。
曲の再生が始まります。



プレイリストを選択し直す場合

ひとつ前の画面に戻るには<キーを押します。

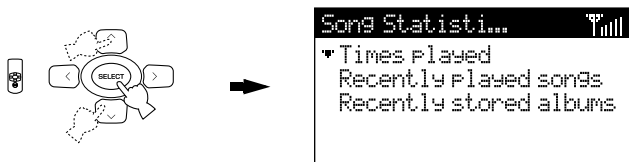
再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞45ページ)。

曲統計 (Song Statistics) から再生する

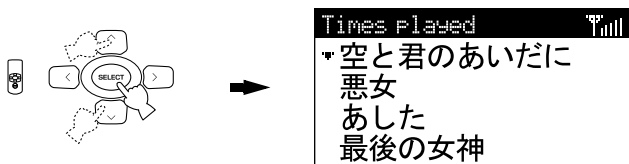
サーバー機に記録された再生情報を統計別に分類し再生できます。

- 1** [Top Menu] → [Play]を選択しPlay Menu画面を表示します。
- 2** へ/√キーで「Song Statistics」を選択しSELECTキーを押します。
Song Statistics画面が表示されます。

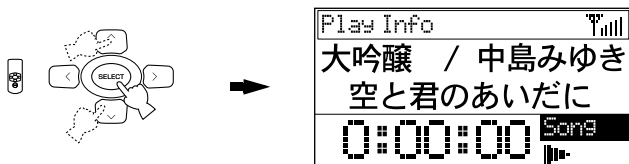


項目	説明
Times played (再生回数順)	再生した回数が多い順に曲が表示されます (最大 100 曲)。
Recently played songs (最近再生した曲順)	最近再生した順に曲が表示されます (最大 100 曲)。
Recently stored albums (最近録音したアルバム順)	最近サーバー機に録音した順にアルバムが表示されます。

- 3** へ/√キーでお好みの統計を選択しSELECTキーを押します。



- 4** へ/√キーでお好みの曲またはアルバムを選択しSELECTキーを押します。
選択した曲またはアルバムから再生が始まります。



曲を選択しなおす場合

<キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択しSELECTキーを押します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞45ページ)。

ブックマーク機能を使用する

お好みの曲にマークし、マークした曲を簡単に再生できます。これをブックマーク機能といいます。

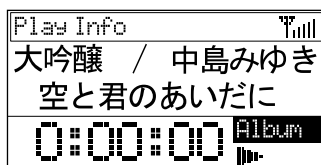
ブックマークは各クライアントで最大999個保存できます。またブックマークをプレイリストにコピーすることもできます。プレイリストに登録すると、他のクライアント機やサーバー機からも簡単に利用できます。

▶ ブックマークリストをつける（ブックマークリストに曲を追加する）

■ 再生情報画面からブックマークをつける

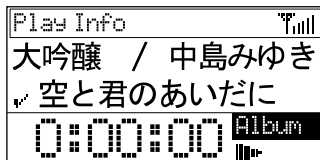
1 曲を再生します。

再生情報画面が表示されます。



2 BOOKMARKキーを押します。

曲名の横にチェックマークがつきます。



クライアント機のブックマーク

各クライアント機でブックマークを管理します。他のクライアント機からブックマークを変更することはできません。

ブックマークをつけるには

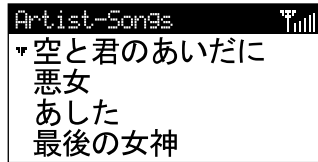
再生情報画面から>キーを選択し Play Style画面から「Bookmark」を選択する方法もあります。

ブックマークを解除する場合

ブックマークを外すときはもう1度BOOKMARKキーを押しチェックマークを外します (P.53ページ)。

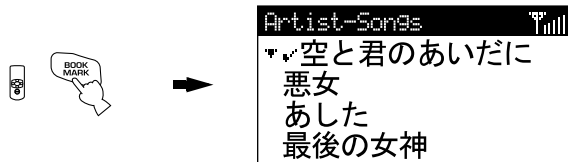
■ 選択画面でブックマークをつける

- 1 [Top Menu] → [Play]を選択しPlay Menu画面を表示します。
- 2 お好みのグループから曲リストを表示します。



- 3 へ/✓キーでブックマークをつける曲を選択しBOOKMARKキーを押します。

ブックマークリストに登録した曲の横にチェックマークが表示されます。



ブックマークを解除する場合

ブックマークを外すときはもう1度BOOKMARKキーを押しチェックマークを外します (P.53ページ)。

アルバム全体にブックマークをつける場合

アルバム全体にブックマークをつけるときは、アルバムを選択しBOOKMARKキーを押します。

ご注意

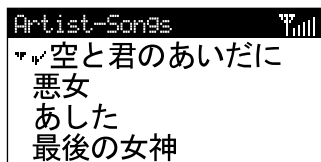
アルバムのブックマークを外すときは、1度に外すことができません。アルバム内の曲を1曲ずつ選択しBOOKMARKキーを押しチェックマークを外します (P.53ページ)。

▶ ブックマークを消す（ブックマークリストから曲を削除する）

1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。

2 お好みのグループから曲リストを表示します。

現在ブックマークがついている曲はすべてチェックマークが表示されます。



3 へ/✓キーでブックマークのついている曲を選択し BOOKMARK キーを押します。

ブックマークのチェックが外れます。



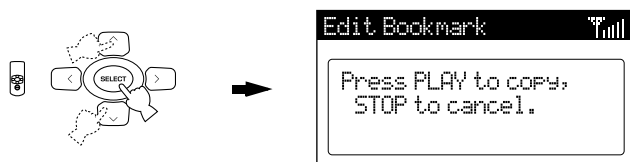
▶ ブックマークリストをプレイリストにコピーする

クライアント機のブックマークリストの内容をプレイリストにコピーできます。プレイリストに登録すると、他のクライアント機やサーバー機からも簡単に利用できます。

1 [Top Menu] → [Edit Bookmark] を選択し Edit Bookmark 画面を表示します。

2 へ/✓キーで「Copy to Playlist」を選択し SELECT キーを押します。

以下のメッセージが表示されます。



操作を中止する場合

操作を中止するときはSTOP
キーを押してください。

3 PLAYキーを押します。

Playlistが作成されます。

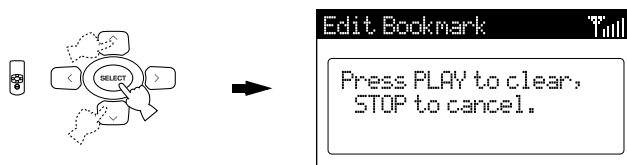
コピーが終わるとEdit Bookmark画面が表示されます。

**▶** ブックマークリストを一括消去する

1 [Top Menu] → [Edit Bookmark]を選択しEdit Bookmark画面を表示します。

2 へ/へキーで「Clear All」を選択しSELECTキーを押します。

以下のメッセージが表示されます。



3 PLAYキーを押します。

Bookmarkが消去されます。

消去されるとEdit Bookmark画面が表示されます。

プレイリストの保存先

ブックマークリストから作成したプレイリストは、先頭のコレクション（初期設定ではタイトルが“コレクション1”）に保存されます。

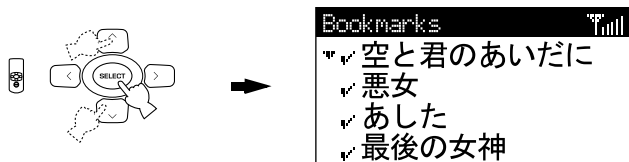
操作を中止する場合

操作を中止するときはStopキーを押してください。

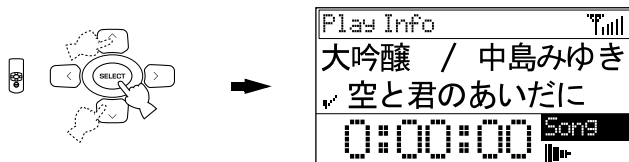
ブックマークリストから曲を再生する

ブックマークをつけた曲を再生します。

- 1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。
- 2 上/下キーで「Bookmarks」を選択し SELECT キーを押します。
Bookmarks 画面が表示されます。



- 3 上/下キーでお好みの曲を選択し SELECT キーを押します。
曲の再生が始まります。



クライアント機のブックマーク

- ▶ ブックマークリストを再生する前に曲にブックマークをつけておく必要があります。
- ▶ MusicCAST システムでは各クライアント機からそれぞれブックマークをつけることができます (P.51 ページ)。

曲を選択しなおす場合

左キーを押してひとつ前の画面に戻ります。曲を選択し SELECT キーを押します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます (P.45 ページ)。

いろいろな再生の設定について

▶ リpeat再生を設定する

現在再生中の曲または選択しているグループを繰り返し再生します。

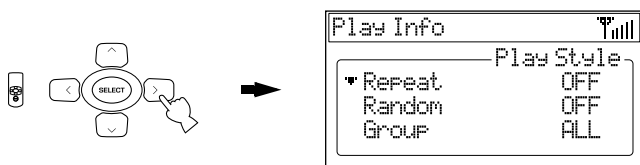
1 PLAY INFO.キーを押します。

再生情報画面が表示されます。



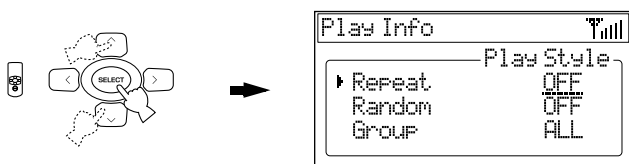
2 >キーを押します。

Play Style画面が表示されます。



3 ^/vキーで「Repeat」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



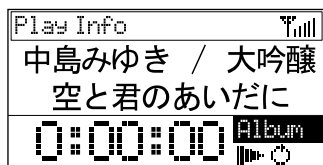
4 ^/vキーで「OFF」、「SINGLE」または「ALL」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
OFF	リピート再生が無効になります。
SINGLE	現在再生している曲を繰り返し再生します。
ALL	選択しているグループを繰り返し再生します。

<キーを押し、再生情報画面で設定を確認してください。

リピート SINGLE



リピート ALL



REPEAT キーについて

再生情報画面で REPEAT キーを押すとワンタッチでリピート再生モードを切り替えることができます。

再生情報画面に戻るには

再生情報画面に戻るには<キーを押します。

「Repeat」を選択した状態では戻れません。SELECTキーを押してから操作してください。

▶ ランダム再生を設定する

現在選択しているグループの曲を順不同に再生します。

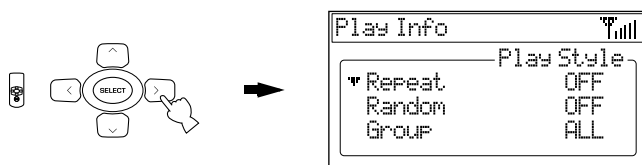
1 PLAY INFO.キーを押します。

再生情報画面が表示されます。



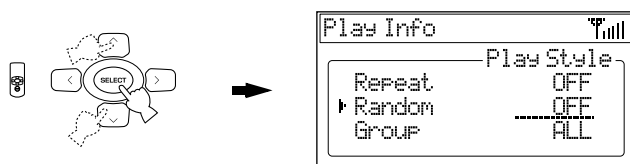
2 >キーを押します。

Play Style画面が表示されます。



3 ^/vキーで「Random」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



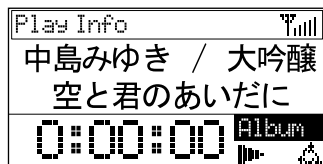
4 ^/vキーで「OFF」または「ON」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
OFF	ランダム再生が無効になります。
ON	ランダム再生が有効になります。

<キーを押し、再生情報画面で設定を確認してください。

ランダム ON



RANDOM キーについて

再生情報画面でRANDOMキーを押すとワンタッチでランダム再生モードを切り替えることができます。

再生情報画面に戻るには

再生情報画面に戻るには<キーを押します。

「Repeat」を選択した状態では戻れません。SELECTキーを押してから操作してください。

▶ グループの再生方法を設定する

選択したグループの再生終了後、再生を停止するか、次のグループを継続して再生するかの設定をします。

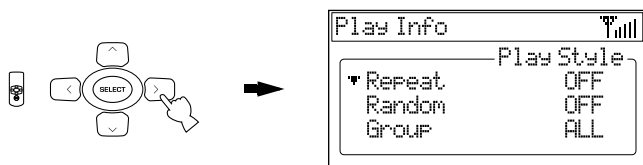
1 PLAY INFO.キーを押します。

再生情報画面が表示されます。



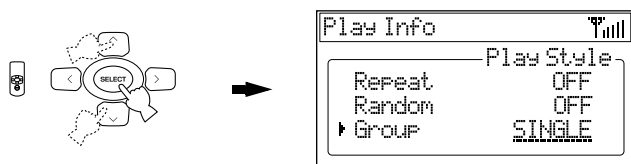
2 >キーを押します。

Play Style画面が表示されます。



3 ^/vキーで「Group」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



4 ^/vキーで「SINGLE」または「ALL」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
SINGLE	選択したグループの再生終了後、再生が停止します。
ALL	選択したグループの再生終了後、続けて次のグループを再生します。

グループ単位の再生

グループとは再生する単位のことです。例えば、アルバムを選択して再生すれば、再生するグループは「Albums」になり、ジャンルを選択すれば「Genres」になるといった具合にグループ単位の再生はそのグループ内のすべての曲を対象にしています。再生グループは再生情報画面に表示されます(☞45ページ)。

グループの再生方法

ここで設定した、グループ設定はリピート再生、ランダム再生にも影響します。
リピート再生について(☞56ページ)
ランダム再生について(☞57ページ)

再生情報画面に戻るには

再生情報画面に戻るには<キーを押します。
「Group」を選択した状態では戻れません。SELECTキーを押してから操作してください。

▶ タイム表示を設定する

現在再生している曲の時間表示を設定します。

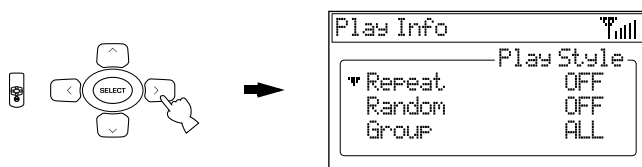
1 PLAY INFO.キーを押します。

再生情報画面が表示されます。



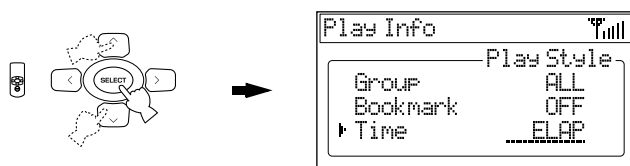
2 >キーを押します。

Play Style画面が表示されます。



3 ^/vキーで「Time」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



4 ^/vキーで「ELAP」または「REM」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
ELAP	現在再生している曲が開始してからの経過時間が表示されます。
REM	現在再生している曲が終了するまでの残り時間が表示されます。

再生情報画面に戻るには

再生情報画面に戻るには<キーを押します。

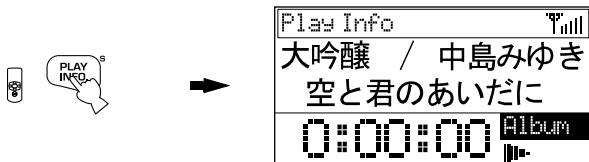
「Time」を選択した状態では戻りません。SELECTキーを押してから操作してください。

▶ 表示項目を設定する

再生情報画面に表示されるアーティストとアルバムの表示形式を設定します。

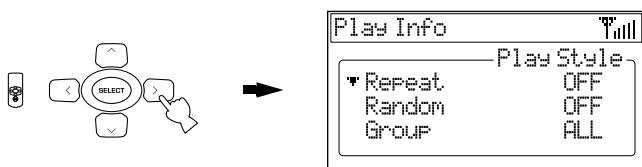
1 PLAY INFO.キーを押します。

再生情報画面が表示されます。



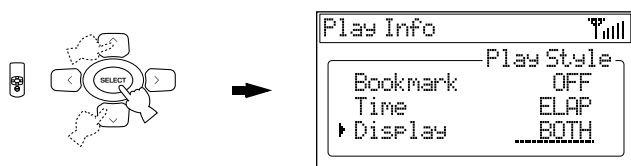
2 >キーを押します。

Play Style画面が表示されます。



3 ^/vキーで「Display」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



4 ^/vキーでお好みのグループ表示を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
BOTH	アルバム名とアーティスト名が表示されます。
ARTIST	アーティスト名が表示されます。
ALBUM	アルバム名が表示されます。

再生情報画面に戻るには

再生情報画面に戻るにはくキーを押します。

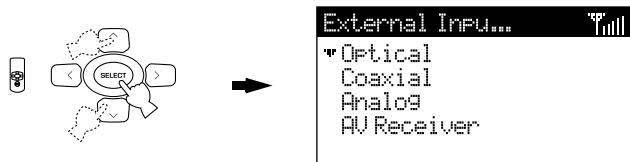
「Display」を選択した状態では戻れません。SELECTキーを押してから操作してください。

サーバー機、クライアント機に接続した外部音源を聴く

▶ サーバー機に接続した外部音源を聴く

サーバー機の入力端子(OPTICAL IN、COAXIAL IN、ANALOG IN)に接続した外部機器で再生された曲をクライアント機で聴くことができます。

- 1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。
- 2 上/下キーで「External Inputs」を選択し SELECT キーを押します。
External Inputs 画面が表示されます。



- 3 上/下キーで「Optical」、「Coaxial」、「Analog」または「AV Receiver」を選択し SELECT キーを押します。

サーバー機に接続された外部音源の再生が始まると同時に、クライアント機からもそれを聴くことができます。

項目	説明
Optical	サーバー機の OPTICAL IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。
Coaxial	サーバー機の COAXIAL IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。
Analog	サーバー機の ANALOG IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。
AV Receiver	サーバー機の RS-232C 端子を使ってチューナー付ヤマハ AV アンプを接続している場合に、プリセットチューナー選曲をすることができます。

▶ クライアント機に接続した外部音源を聴く

クライアント機のアUX IN端子に接続した外部機器から曲を聴くことができます。

- 1 [Top Menu] → [Input] を選択し Input 画面を表示します。
- 2 上/下キーで「Client AUX」を選択し SELECT キーを押します。

ご注意

外部機器から入力された曲は、MP3 (160kbps) フォーマットでクライアント機へ配信されます。

ご注意

クライアント機は、サーバー機の入力端子(OPTICAL、COAXIAL、ANALOG、RS-232C)から1種類を選択し、接続された音源を再生します。1台のクライアント機で外部機器の入力を変更すると同じネットワーク上のサーバー機とすべてのクライアント機の入力を変更されます。

入力をサーバー機に戻す

ステップ2で「Server」を選択すると入力がサーバー機に切り替わります。

INPUT キーについて

INPUTキーを押すと、Client AUXとServerが切り替わります。

▶ クライアント機でラジオ放送を聴く

サーバー機とチューナー付ヤマハAVアンプをRS-232Cケーブル（クロスタイプ）で接続している場合に、AVアンプで受信したラジオ局の放送をクライアント機で切り替えることができます。

1 [Top Menu] → [Play] を選択し Play Menu 画面を表示します。

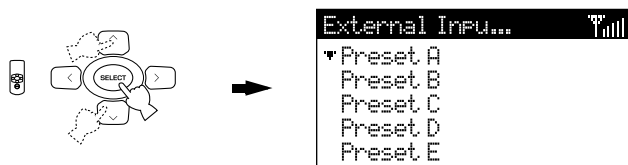
2 へ/ふキーで「External Inputs」を選択し SELECT キーを押します。

External Inputs 画面が表示されます。



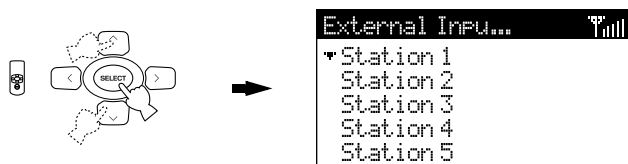
3 へ/ふキーで「AV Receiver」を選択し SELECT キーを押します。

プリセットグループの一覧が表示されます。



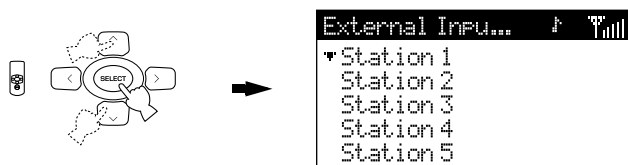
4 へ/ふキーでお好みのプリセットグループを選択し SELECT キーを押します。

選択したプリセットグループの中で利用可能なラジオ局リストが表示されます。



5 へ/ふキーでお好みのラジオ局を選択し SELECT キーを押します。

再生情報画面が表示され選択したラジオ局の再生が始まります。



ラジオ放送を聴く前に

- ▶ サーバー機と組み合わせてご使用になれる AV アンプは、サーバー機の画面で確認できます (MCX-1000 取扱説明書 203 ページ)。
- ▶ チューナー付ヤマハ AV アンプにプリセットされたラジオ局をクライアント機で選択して聴くためには以下の条件を満たしている必要があります。
 - ・ RS-232C 接続ケーブルで、サーバー機とヤマハ AV アンプが接続されている。
 - ・ ヤマハ AV アンプの REC OUT 端子とサーバー機のアナログ入力端子がステレオピンケーブルで接続されている。
 - ・ サーバー機の設定が正しくされている (MCX-1000 取扱説明書 188 ページ)。
 - ・ ヤマハ AV アンプのプリセットにラジオ局をあらかじめセットしておく。

ご注意

クライアント機からサーバー機に配信要求できるラジオチャンネルは 1 種類です。1 台のクライアント機でチャンネルを変更すると同じネットワーク上のすべてのクライアント機のチャンネルが変更されます。

AV Receiver の選択

AV Receiver (AV アンプ) を選択すると、外部入力を再生中のサーバー機、クライアント機の入力は、ここで選択したプリセットしているラジオ局 (アナログ入力) に切り替わります。

いろいろな機能

クライアント機の設定

▶ 各設定情報の初期設定

本章で説明するすべてのパラメーターの初期設定値は以下のとおりです。

設定メニュー	パラメーター・グループ	パラメーター名	初期設定値	
Setup	OFF Timer		OFF	
	ON Timer		OFF	
	Auto Play		OFF	
	Auto Level Control		OFF	
	Contrast		約 70%	
	Network	Manual Setup - Mode		Auto
		Manual Setup - Server ID		SV-00000
		Manual Setup - DHCP		ON
		Manual Setup - IP Address		192.168.1.2
		Manual Setup - Subnet Mask		255.255.255.0
Manual Setup - ESS ID			MC	
Manual Setup - WEP key			(なし)	
Input			SERVER	
Tone	Treble		± 0dB	
	Bass		± 0dB	
Volume level			- 70.0dB	

▶ オフタイマー機能を使う

オフタイマーとは、設定した時間がたつとスリープ状態に切り替わる機能です。ここでは、2種類の設定方法を説明します。

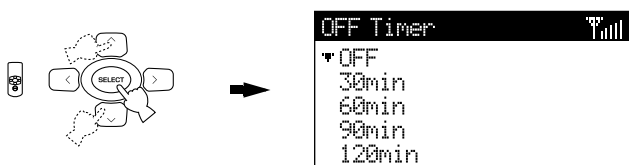
■ メニューから設定する

1 [Top Menu] → [Setup]を選択しSetup画面を表示します。



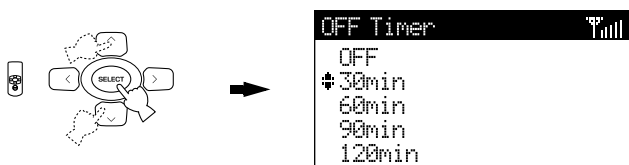
2 へ/ふキーで「OFF Timer」を選択しSELECTキーを押します。

OFF Timer画面が表示されます。



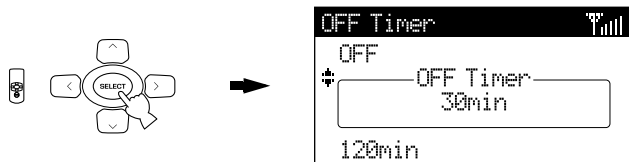
3 へ/ふキーで電源が切れるまでの時間を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。



4 SELECTキーを押します。


確認画面が表示されます。



5 数秒後Setup画面が表示され、TIMERランプが点灯します。

オフタイマーが設定されます。

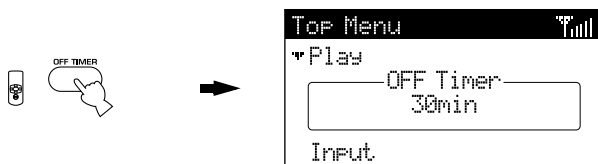
タイマー設定について

オンタイマーとオフタイマーを組み合わせ設定できます。オンタイマーの設定について
 65ページ

■ OFF TIMERキーを使って設定する

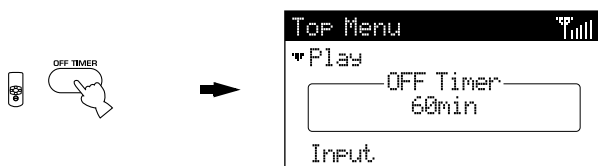
1 OFF TIMERキーを押します。

OFF Timer画面が表示されます。



2 OFF TIMERキーを繰り返し押します。

スリープに切り替わるまでの時間が、30、60、90、120分、OFFの順に切り替わります。



3 数秒後画面が切り替わり、TIMERランプが点灯します。

オフタイマーが設定されます。

▶ オンタイマー機能を使う

オンタイマーとは、設定した時刻になるとスリープからオンに切り替わる機能です。ここでは2種類の設定方法を説明します。

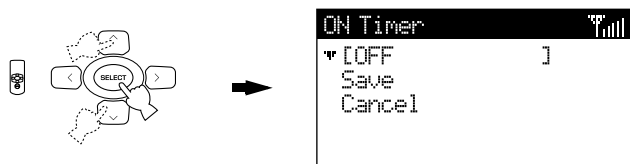
■ メニューから設定する

1 [Top Menu] → [Setup]を選択しSetup画面を表示します。



2 ^/vキーで「ON Timer」を選択しSELECTキーを押します。

ON Timer画面が表示されます。



スリープについて

オフタイマーを設定した時間がたつと、曲の再生中でも再生を停止しスリープに切り替わります。

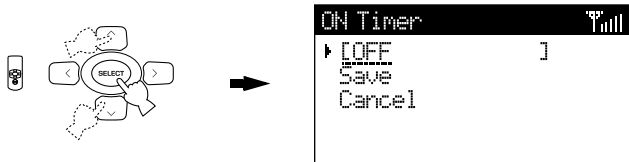
ご注意

オンタイマー作動時、サーバー機がネットワーク休止状態（IRスタンバイ）になっていると曲の再生ができません（この場合、アラーム音になります）。曲を再生するには、サーバー機のスタンバイ設定をネットワーク待機状態（LANスタンバイ）にしてください（MCX-1000取扱説明書195ページ）。

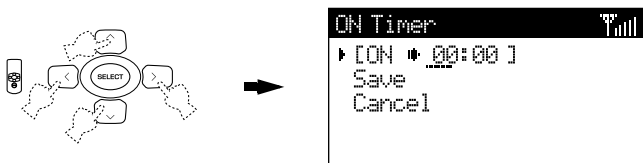
タイマー設定について

オンタイマーとオフタイマーを組み合わせ設定できます。オフタイマーの設定について 64ページ

3 へ/√キーで[OFF]を選択しSELECTキーを押します。



4 へ/√キーで「ON」選択し>キーを押します。



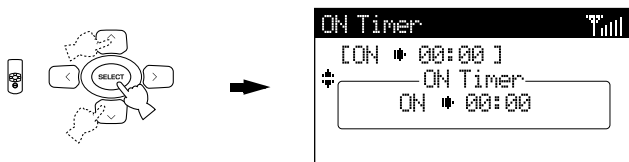
5 へ/√キーでスリープからオンになる時刻（時）を入力します。

6 </>キーで（分）を選択しへ/√キーで数字を入力します。

7 SELECTキーを押します。

8 へ/√キーで「Save」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され、確認画面が表示されます。



9 数秒後、ON Timer画面が消えます。

オンタイマーが設定されます。

■ ON TIMERキーを使って設定する

1 ON TIMERキーを押します。

ON Timer画面が表示されます。



2 ON TIMERキーを繰り返し押します。

オンタイマーのオン、オフが切り替わります。

3 数秒後、ON Timer画面が消えます。

オンタイマーが設定されます。

操作を中止する場合

「Cancel」を選択すると、設定は保存されません。

スリープの設定

オフタイマーを使用してスリープを設定するとき (P.64 ページ)

タイマー設定

- ▶ オンタイマーを設定した後、クライアント機がスリープになるとTIMERランプが点灯します。
- ▶ オンタイマーは、設定した時刻が来るたびに作動します。

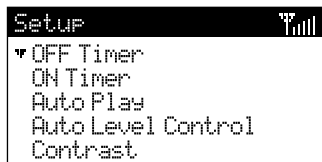
ON TIMER キーを使って設定する場合

オンタイマーの時刻を設定しておく必要があります (P.64 ページ)。

▶ オートプレイ機能を使う

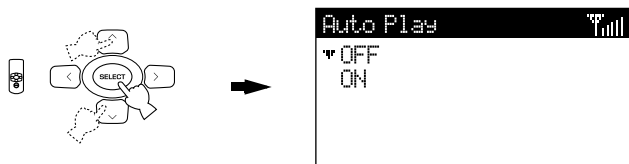
オートプレイとはスリープから復帰したときやスタンバイから電源オンにしたとき、スリープやスタンバイになるまで再生情報画面に表示されていた曲を先頭から自動再生する機能です。

- 1 [Top Menu] → [Setup] を選択し Setup 画面を表示します。



- 2 ^/√キーで「Auto Play」を選択し SELECT キーを押します。

Auto Play 画面が表示されます。



- 3 ^/√キーで「ON」または「OFF」を選択し SELECT キーを押します。

設定が保存されます。

項 目	説 明
ON	オートプレイが有効になります。
OFF	オートプレイが無効になります。

▶ オートレベルコントロール機能を使う

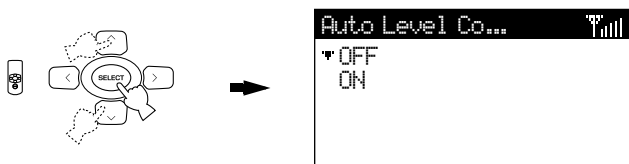
オートレベルコントロールとは再生する曲ごとの音量を均一にする機能です。

1 [Top Menu] → [Setup] を選択し Setup 画面を表示します。



2 上/下キーで「Auto Level Control」を選択し SELECT キーを押します。

Auto Level Control 画面が表示されます。



3 上/下キーで「ON」または「OFF」を選択し SELECT キーを押します。

設定が保存されます。

項目	説明
ON	オートレベルコントロールが有効になります。
OFF	オートレベルコントロールが無効になります。

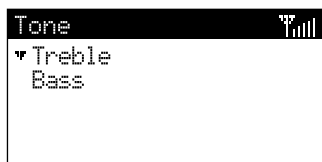
ご注意

オートレベル機能を使用すると、音量が違うさまざまな曲をすべて均一化してしまうため再生の結果に満足を得られない場合があります。そのような場合は、この機能を使わないでください。

▶ 音質を調節する

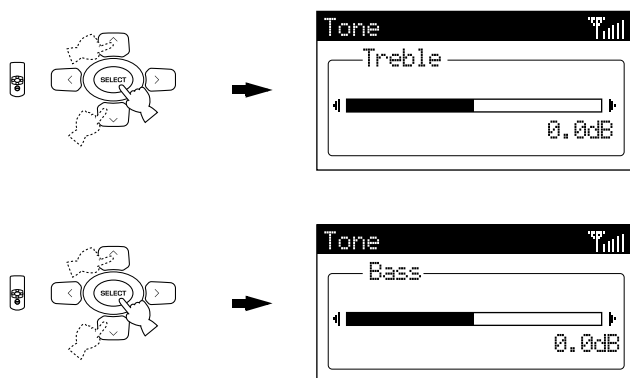
クライアント機から再生される曲の音質を調節します。

- 1 [Top Menu] → [Tone]を選択しTone画面を表示します。



- 2 上/下キーで「Treble」、または「Bass」を選択しSELECTキーを押します。

TrebleまたはBass設定画面が表示されます。



項目	説明
Treble	◀/>キーで高音域の出力レベルを調節します。
Bass	◀/>キーで低音域の出力レベルを調節します。

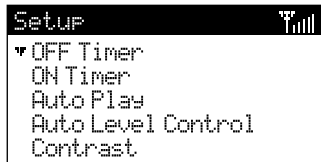
- 3 SELECTキーまたはMENUキーを押します。

設定が保存されます。

▶ コントラストを調節する

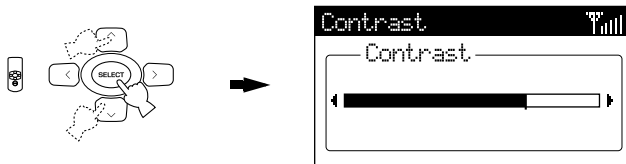
ディスプレイが見えにくいときに明るさを調整します。

1 [Top Menu] → [Setup] を選択し Setup 画面を表示します。



2 へ/✓キーで「Contrast」を選択しSELECTキーを押します。

Contrast画面が表示されます。



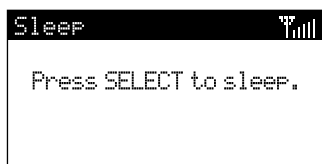
3 へ/✓キーで設定値を変更しSELECTキーを押します。

設定が保存されます。

▶ スリープ機能を使う

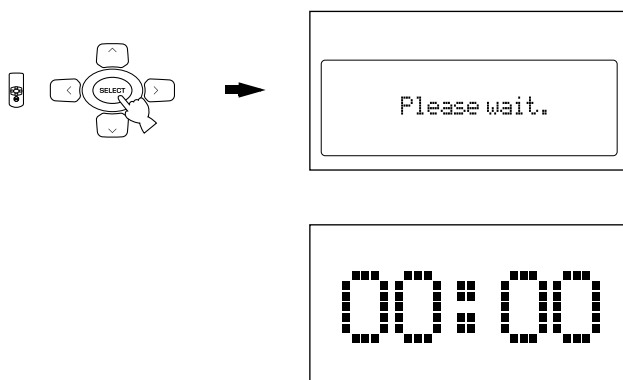
スリープ機能とはクライアント機をお使いにならないときに画面を時刻表示にして少電力状態にする機能です。

1 [Top Menu] → [Sleep] を選択し Sleep 画面を表示します。



2 SELECT キーを押します。

クライアント機がスリープ状態に切り替わり、現在の時刻が表示されます。



スリープ機能の解除

スリープ機能を解除するときは SELECT キーを押してください。

オートスリープについて

クライアント機で再生を停止し、何も操作をしなくなってから30分間たつとスリープ状態に切り替わります。

Sleep キーについて

Sleep キーを押すとワンタッチでスリープ状態に切り替わります。

時刻表示について

- ▶ クライアント機とサーバー機がうまく接続されていないと正しい時間が表示されません。
- ▶ 表示された時刻が正しくないときは、サーバー機の日付と時刻の設定を変更してください（☞MCX-1000取扱説明書182ページ）。

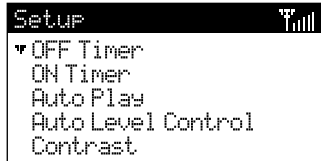
システムの設定

システム情報

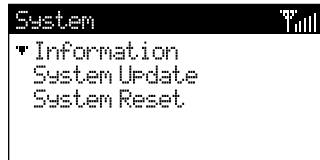
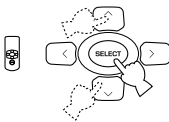
▶ システム情報を確認する

クライアント機にインストールされているシステムのファームウェアバージョンを確認します。

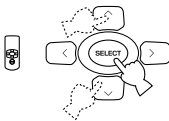
1 [Top Menu] → [Setup] を選択し Setup 画面を表示します。



2 へ/√キーで「System」を選択しSELECTキーを押します。
System画面が表示されます。



3 へ/√キーで「Information」を選択しSELECTキーを押します。
Information画面が表示されます。



▶ ファームウェアをアップデートする

クライアント機やサーバー機のシステムファームウェアが更新された場合、クライアント機に新しいシステムのファームウェアをインストールする必要があります。

1 サーバー機のアップデートを行います。

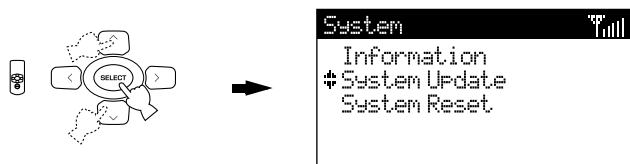
クライアント機用のアップデートプログラムがサーバー機のハードディスクにコピーされます。

2 [Top Menu] → [Setup]を選択しSetup画面を表示します。



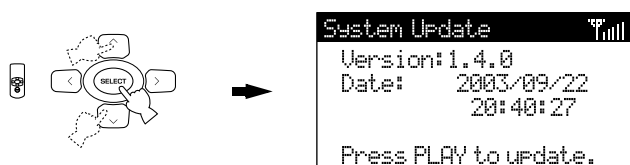
3 ^/vキーで「System」を選択しSELECTキーを押します。

System画面が表示されます。



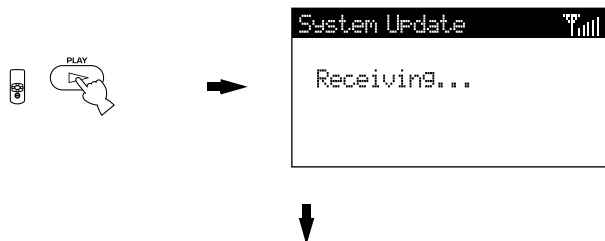
4 ^/vキーで「System Update」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



5 PLAYキーを押すとアップデートが始まります。

以下の順番に画面が表示されます。



ご注意

ファームウェアの更新中に電源をスタンバイにしないでください。

サーバー機のファームウェアのアップデート

サーバー機のアップデートの手順については、MCX-1000取扱説明書(※199ページ)および更新されたファームウェアの取扱説明書をご参照ください。

操作を中止する場合

操作を中止するときは^キーを押してください。

クライアント機のファームウェア

サーバー機より更新されたファームウェアデータを読み込みます。



以下の画面が表示されるとアップデートは終了です。



6 クライアント機が再起動します。

アップデート完了です。

ファームウェアのバージョン

アップデートが完了したらファームウェアのバージョンを確認してください (72ページ)。

▶ 初期設定に戻す

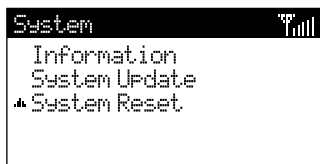
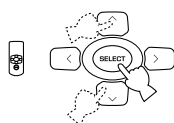
再生の各種設定、タイマー設定、ネットワーク設定を購入時の状態に戻します。

1 [Top Menu] → [Setup]を選択しSetup画面を表示します。



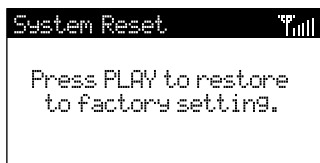
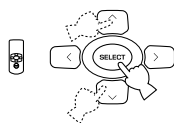
2 ^/∨キーで「System」を選択しSELECTキーを押します。

System画面が表示されます。



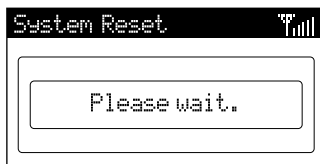
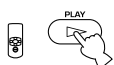
3 ^/∨キーで「System Reset」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



4 PLAYキーを押します。

リセットが始まります。



5 クライアント機が再起動します。

リセット完了です。

ご注意

- ▶ クライアント機をリセットしてもすでにアップデートされたファームウェアや、サーバー機に保存された曲のデータには影響ありません。
- ▶ 初期設定に戻すと、クライアント機の設定がすべて工場出荷時の設定に戻りますので、ネットワークへの接続を再設定してください(※30ページ)。

操作を中止する場合

操作を中止するときは<キーを押してください。

▶ ネットワークの状態を確認する

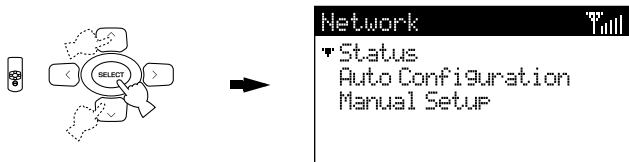
ネットワーク設定情報と無線ネットワークの状態を確認します。

1 [Top Menu] → [Setup] を選択し Setup 画面を表示します。



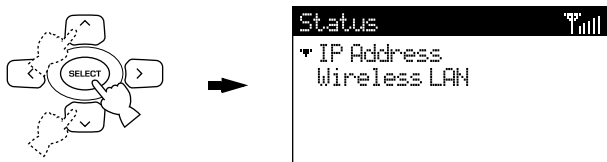
2 上/下キーで「Network」を選択し SELECT キーを押します。

Network 画面が表示されます。



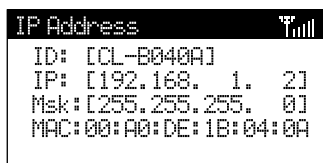
3 上/下キーをで「Status」を選択し SELECT キーを押します。

Status 画面が表示されます。



4 上/下キーで「IP Address」または「Wireless LAN」を選択します。

IP Address 画面



項目	説明
ID	ネットワーク設定でクライアント機が使っている ID を表示します。クライアント ID は変更できません。
IP	クライアント機が使っている IP アドレスを表示します。
Msk	クライアント機が使っているサブネットマスクを表示します。
MAC	クライアント機が使っている MAC アドレスを表示します。Mac アドレスは変更できません。

クライアント ID について

クライアント ID は、工場出荷時にすべてのクライアント機に別々につけられる認識番号で、変更できません。

Wireless LAN 画面

Wireless LAN		7/11
Comm. Quality	100%	
Signal Level	100%	
BitRate	11Mbps	

項 目	説 明
Comm. Quality	クライアント機が受信しているネットワーク信号の質を表示します。
Signal Level	クライアント機が受信している信号の強度を表示します。
BitRate	ネットワーク接続でクライアント機がデータを受信するスピード（単位：メガビット / 秒）を表示します。

付録

仕様

■ オーディオ部

周波数特性(EIAJ、±0.5 dB) 20 Hz ~ 20 kHz
S/N比 (EIAJ) 100 dB以上
ダイナミックレンジ(EIAJ) 90 dB以上
全高調波歪率(EIAJ) 0.008 %以下

■ 入力端子

外部入力端子 (AUX IN)
入力感度 300 mVrms

■ 出力端子

スピーカー出力端子 (SPEAKER OUT)
実用最大出力 (EIAJ、4 Ω、1 kHz、10 % THD)
. 17 W + 17 W
アナログ出力端子 (LINE OUT L/R)
出力レベル 2 Vrms
サブウーファー出力端子 (S.WOOFER)
出力レベル (ボリューム最大) 1 Vrms
ヘッドホン出力端子 (PHONES)
出力レベル (150 Ω、-20 dB、ボリューム最大)
. 650 mVrms

■ 一般

再生フォーマット MP3、PCM
電源電圧 AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 40 W
待機時消費電力 (スタンバイ状態) 0.5 W
動作温度 +5 ~ 35 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)
. 210 × 245.5 × 79 mm
質量 (ACアダプターを除く) 2 kg

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対応
STANDBY/ON ボタンを押しても電源が入らない。	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
ネットワーク自動設定が正常に機能しない。	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のみ）。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークチャンネルを変更してください（MCX-1000 取扱説明書 172 ページ）。 サーバー機およびクライアント機の設置場所を変更してください。 有線ネットワークに変えてください（29 ページ）。
	サーバー機またはクライアント機がネットワーク自動設定モードになっていない。	設定手順を確認し、もう 1 度ネットワーク自動設定を実行してください（ 30 ページ ）。
	ネットワーク上に同じ IP アドレスを使用している機器が存在する。（クライアント機の IP アドレスの確認は、76 ページのネットワークの状態の IP Address 画面で確認できます。）	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスの設定の手順で IP アドレスを変更してください（38 ページ）。 ネットワーク上の IP アドレスを再確認し必要に応じて IP アドレス /DHCP に関する設定を再度行ってください。
クライアント機での再生時に音が聞こえない。	クライアント機の音量調節が低く設定されている。	音量を上げてください（ 14 ページ ）。
	クライアント機にスピーカーまたはヘッドホンが正しく接続されていない。	クライアント機とスピーカーの接続を確認してください（ セットアップガイド ）。
クライアント機で再生できない。	ネットワークが正しく設定されていない。	クライアント機とサーバー機のネットワーク設定を確認してください（ 30 ページ ）。
	サーバー機がスタンバイの状態になっている。	サーバー機をオンにしてください。
	サーバー機に MP3 フォーマットの曲がない。曲名に「*」がついている。	<ul style="list-style-type: none"> PCM フォーマットで保存されているサーバー機の曲が MP3 フォーマットに変換されるまでしばらくお待ちください。 PCM フォーマットの曲を再生できるように設定してください（PCM フォーマットで再生できるのはクライアント機 1 台のみです）（MCX-1000 取扱説明書 193 ページ）。
	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のみ）。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークチャンネルを変更してください（MCX-1000 取扱説明書 172 ページ）。 サーバー機およびクライアント機の設置場所を変更してください。 有線ネットワークに変えてください（29 ページ）。

症状	原因	対応
クライアント機での再生中に音飛びする。	複数のクライアント機を同時に再生し、さらにサーバー機で再生、録音、編集をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 再生（録音）を停止してください。 同時に再生しているクライアント機の台数を減らしてください（☞MCX-1000 取扱説明書 141 ページ）。 クライアント機に配信する MP3 フォーマットの録音時の設定を 160kbps にしてください（☞MCX-1000 取扱説明書 187 ページ）。
	ネットワークが非常に混雑している（有線ネットワーク接続のみ）。	お使いの MusicCAST システム独自のサブネットワークを設定するか、ハブなどのネットワーク周辺機器をアップグレードしてください（☞39 ページ）。
	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のみ）。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークチャンネルを変更してください（☞MCX-1000 取扱説明書 172 ページ）。 サーバー機およびクライアント機の設置場所を変更してください。 有線ネットワークに変更してください（☞29 ページ）。
外部機器から録音した曲をクライアント機で選択できない。	外部機器から録音した曲をサーバー機のライブラリーに登録していない。	外部機器から録音した曲をライブラリーに登録してください（☞MCX-1000 取扱説明書 116 ページ）。
外部機器から入力した音声信号が再生ができない。	サーバー機が外部機器から録音している。	サーバー機の録音が終了するまでお待ちください。
外部機器から入力した音声信号の再生が勝手に止まる、切り替わる。	他のクライアント機やサーバー機で外部入力の切り替え操作をしている。	他からの切り替え操作を中止してください。
音量調節と停止以外クライアント機で何もコントロールできない。	サーバー機がクライアント機をロックしている。	サーバー機でロックを解除してください（☞MCX-1000 取扱説明書 142 ページ）。
ラジオ受信機のそばでクライアント機の再生操作をするとラジオ放送にノイズが混じる。	クライアント機とラジオが近すぎる。	クライアント機とラジオを 1 メートル以上離して設置してください。
クライアント機の画面に「Error: Amp Protection Active」が表示される。	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	スピーカーケーブルを正しく接続してください（☞セットアップガイド）。
	インピーダンスの低いスピーカーを使っている。	4 オーム以上のスピーカーを使用してください。
サイドパネルカバーを正しく取り付けられない。	付属のケーブル以外の太いケーブルを用いて接続している。	クライアント機に付属しているケーブル（L 字型端子）を使わなければ、パネルは閉じません（☞19 ページ）。
	LAN ケーブルのゴムカバーがパネルカバーを遮っている。	LAN ケーブルのゴムカバーを外してください。

症状	原因	対応
ヤマハ AV アンプからのプリセットチューナー再生ができない。	サーバー機のフロントパネルにある ANALOG REC LEVEL ツマミの設定が低すぎる。	ANALOG REC LEVEL ツマミの設定を上げてください (MCX-1000 取扱説明書 16 ページ)。
	サーバー機に接続されたヤマハ AV アンプ設定が正しくない。	ヤマハ AV アンプの設定を正しく行ってください (MCX-1000 取扱説明書 190 ページ)。
	サーバー機に接続されたヤマハ AV アンプの電源がオフになっている。	ヤマハ AV アンプの電源をオンにしてください。
	サーバー機にヤマハ AV アンプが正しく接続されていない。	サーバー機にヤマハ AV アンプを正しく接続してください (セットアップガイド)。
	ヤマハ AV アンプが FM/AM 電波を受信していない。	お使いのヤマハ AV アンプの取扱説明書をご参照ください。
クライアント機でヤマハ AV アンプからのラジオ放送を聴いているときに、ラジオ放送が中断したり、他の入力音源に切り替わったりする。	別のクライアント機がプリセットチューナーまたはサーバー機の外部入力を変更している。	サーバー機に接続されているヤマハ AV アンプのプリセットチューナーの局を別のクライアント機で変更したり、サーバー機の外部入力の変更をしないでください。

用語解説

本書で使用されている用語を説明します。

▶ 再生編

アルバム

ある特定のアーティスト名がついた曲の集まりのことです。通常、1枚のCDを録音すると、そのCDはひとつのアルバムとしてサーバー機に保存されます。

アーティスト

アルバムの演奏者のことです。曲名、アルバム名、ジャンル名などの情報といっしょにサーバー機に保存されます。

ジャンル

アルバムの音楽のタイプ（ジャズ、ロック、クラシックなど）のことです。曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報といっしょにサーバー機に保存されます。

曲

CDやカセットなどの1トラックに相当するひと続きの音声のことです。1曲の最短時間は4秒です。

グループ

サーバー機やクライアント機が再生している範囲のことです。例えば、曲を選択せずにアルバムを再生している場合は、「アルバム」というグループを再生していることとなります。同様に、曲を選択せずにジャンルを再生している場合は、「ジャンル」というグループを再生していることとなります。

ブックマーク

お好みの曲などに任意で付けるチェックマークのことです。サーバー機やクライアント機でブックマークを付けた曲だけを再生できます。

プレイリスト

曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名からお好みで選択し作成した演奏順リストのことです。ブックマークをプレイリストに登録すると、他のクライアント機やサーバー機からも再生できます。

リンク

プレイリストを構成する要素です。曲やグループそのものではなく、それらを特定するための情報です。

▶ 録音編

録音

CDに録音されている曲をサーバー機内のハードディスクにコピーすることです。

CDDB

音楽CDの曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名などの情報を検索するデータベースです。MusicCASTシステムでは、サーバー機に内蔵されたCDDBとインターネット上CDDBのサイトがご利用になれます。

CD TEXT

音楽CDに付加された曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などのテキスト情報のことです。

エンコード

CDから録音されたPCMフォーマットのデータをMP3フォーマットのデータに変換することです。

MP3フォーマット

「MPEG Layer 3」の略で、高圧縮率かつ高品質な音楽データです。サーバー機内のハードディスクに音楽データを保存するときに使用するデータフォーマットのひとつです。PCMフォーマットにくらべデータ容量が少ないので大量の音楽データを保存できます。MPEG Layer 3音声圧縮技術はFraunhofer IISおよびThomsonによってライセンス供与されています。

PCM フォーマット

Pulse Code Modulationの略です。音の品位は高いが、容量が大きくなるためハードディスクの領域を多く使用します。サーバー機内のハードディスクにデータを保存するときに使用するデータフォーマットのひとつです。

▶ ソフトウェア編

メニュー

選択できる設定項目などが、リスト形式で表示されたものです。メニューはクライアント機およびサーバー機のディスプレイに表示されます。

ファームウェア

サーバー機/クライアント機に組み込まれたソフトウェアです。ご購入後も必要に応じてファームウェアをアップデートし新機能を追加できるように設計されています。

▶ ネットワーク編

LAN ケーブル

LAN (Local Area Network) 上の2つの機器を接続するためのケーブルです。

ネットワーク

お互いにデータを共有できる機器の集まりのことです。

無線ネットワーク

微弱なFM電波を利用して、サーバー機とクライアント機間のデータ通信をするネットワークのことです。

有線ネットワーク

LANケーブルを利用して、サーバー機とクライアント機間のデータ通信をするネットワークのことです。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、LAN上の機器に自動的にIPアドレスを割りあてる方法です。通常MusicCASTシステムでは、クライアント機がネットワークにログインすると、サーバー機が、あらかじめ用意されたIPアドレスの1つをそのクライアント機に割りあてます。

WEP

傍受が容易な無線通信におけるセキュリティのための暗号化技術のことです。40ビットと128ビットの規格があります。

サブネットマスク

巨大なネットワークを複数の小さなネットワーク(サブネット)で分割して管理する場合に、IPアドレスの何ビットをネットワーク識別のアドレスに使用するかを定義する数値のことです。

ESS ID

無線ネットワークで混信を避けるために付けられる識別番号です。ESS IDが一致する端末としか通信しないようにすることができます。

IPアドレス

インターネットやLANなどのネットワークに接続された個々のコンピュータに割りあてられる識別番号のことです。

プライベートIPアドレス

プライベートIPアドレスはローカルエリアネットワーク内でのみ使用されます。

プライベートIPアドレスにはいくつかの種類がありますが、代表的な例は、192.168.aaa.bbbで、"aaa"は0から255までの番号、"bbb"は1から254までの番号です(ただし、サブネットマスクが255.255.255.0の場合)。

グローバルIPアドレス

グローバルIPアドレスとは、インターネットに接続している機器に割りあてられるIPアドレスです。

MisicCAST機器に設定できるIPアドレスとは異なります。グローバルIPアドレスをサーバー機のIPアドレスとして設定しないでください。

索引

C

CD TEXT	82
CDDB	82

D

DHCP	83
DHCP 設定	37

E

ESS ID	40, 83
--------------	--------

I

IP アドレス	38, 83
---------------	--------

L

LAN ケーブル	83
----------------	----

M

MP3 フォーマット	82
------------------	----

O

OFF TIMER	65
-----------------	----

P

PCM フォーマット	82
------------------	----

S

Server ID	36
-----------------	----

W

WEP	83
WEP キー	41

あ

アーティスト	82
アルバム	82

え

エンコード	82
-------------	----

お

オートプレイ	67
オートレベルコントロール	68
オフタイマー	64
音質調節	69
オンタイマー	65

か

外部音源を聴く	61
---------------	----

き

曲	82
---------	----

く

クライアント機のセットアップ	18
グループ	82
グループ表示を設定する	60
グローバル IP アドレス	83

こ

コントラスト	70
コントローラー	25

さ

サーバー機のハードディスク	42
再生	
アーティスト	
アーティストから曲を再生する	46
アルバム	
アルバムから曲を再生する	47
曲統計	
曲統計 (Song Statistics) から	
再生する	50
ジャンル	
ジャンルから曲を再生する	48
すべての曲	
すべての曲の中から再生する	49
ブックマーク	
ブックマークリストから曲を再生する	55
プレイリスト	
プレイリストの曲を再生する	49
再生情報画面	45
サイドパネル	15
サブネットマスク	39, 83

し

システム情報	72
ジャンル	82
仕様	78
初期設定	63, 75

す

スリープ機能	71
--------------	----

せ		
接続の確認	22	
選曲	43	
た		
タイム表示を設定	59	
て		
電源モード	23	
と		
トップメニュー画面	24	
ね		
ネットワーク	83	
ネットワークの自動設定	30	
ネットワークの手動設定	34	
ネットワークの状態	76	
ネットワークモード	35	
ふ		
ファームウェア	73, 83	
付属品	10	
ブックマーク	82	
ブックマーク機能	51	
プライベート IP アドレス	83	
プレイリスト	82	
プレイリストのコピー	53	
フロントパネル	14	
む		
無線ネットワーク	83	
無線ネットワーク接続	28	
め		
メニュー	83	
ゆ		
有線ネットワーク	83	
有線ネットワーク接続	29	
ら		
ラジオ放送を聴く	62	
ランダム再生	57	
り		
リピート再生	56	
リモコン	16, 25	
リモコン操作	44	
リンク	82	
ろ		
録音	82	

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料**
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代**
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料**
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年数とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01-1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3489

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249
- 首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラクターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762-2121
- 浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1

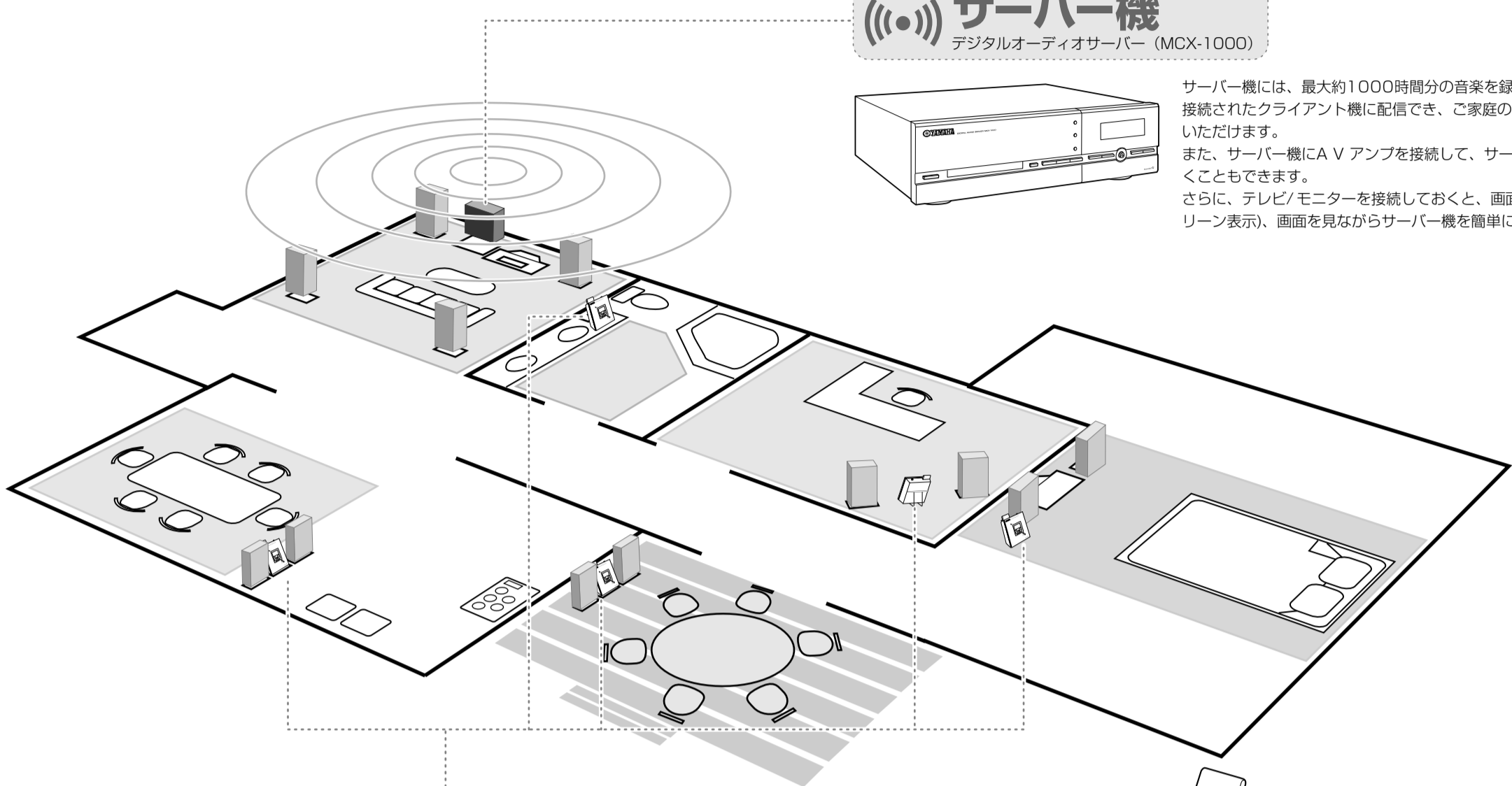


この取扱説明書はエコパルプ（ECF: 無塩素系漂白パルプ）を使用しています。



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

1.お好きな場所にMusicCAST機器を設置しましょう



サーバー機
デジタルオーディオサーバー (MCX-1000)

サーバー機には、最大約1000時間分の音楽を録音することができます。録音した音楽は、無線接続されたクライアント機に配信でき、ご家庭のお好きな場所で好きなときに音楽をお楽しみいただけます。

また、サーバー機にA/Vアンプを接続して、サーバー機に録音されている音楽をお楽しみいただくこともできます。

さらに、テレビ/モニターを接続しておくことで、画面にメニューを表示させることができ(オンスクリーン表示)、画面を見ながらサーバー機を簡単に操作できます。

クライアント機
デジタルオーディオターミナル (MCX-A10)

クライアント機を使用し、ご家庭のお好きな場所でサーバー機に録音された音楽をお楽しみいただけます。

サーバー機には、最大5台までのクライアント機を無線接続できます。また、無線接続と有線接続を組み合わせると、最大7台までのクライアント機を接続でき、ご家庭で音楽を楽しむエリアをさらに広げることができます。

設置をする前に、サーバー機とすべてのクライアント機を一箇所に集めて、ネットワーク自動設定を行うことをおすすめします。

サーバー機とクライアント機を無線で接続する場合は20~30m以内を目安に設置して下さい。

ご注意

クライアント機とサーバー機の間に厚い壁があったり、電子レンジや携帯電話など、電波障害のもととなる機器が近くにおいたりすると、クライアント機とサーバー機間の通信距離が短くなる場合があります。

Printed in Japan WB93460

2.サーバー機をセットアップしましょう

テレビ/モニターの接続

オンスクリーン画面を表示させるには、サーバー機をテレビ/モニターに接続してください。

オンスクリーン画面:
テレビ/モニター画面にメニューを表示して、画面を見ながらサーバー機を簡単に操作できます。

お手持ちのテレビ/モニターにSビデオ端子がある場合:
サーバー機のS VIDEO OUT端子と、テレビ/モニターのSビデオ入力端子を接続します。

お手持ちのテレビ/モニターにSビデオ端子がない場合:
サーバー機のVIDEO OUT端子と、お手持ちのテレビ/モニターのビデオ入力端子を接続します。

ご注意
サーバー機の表示パネルに「See OSD」が表示された場合には、テレビ/モニターを接続してください。
MusicCASTシステムの取扱説明書にはテレビ/モニターに表示されたオンスクリーン画面を記載しています。

Sビデオ端子について

Sビデオ端子で接続すれば、ビデオ端子で接続したときよりも高画質な映像をお楽しみいただけますので、Sビデオ端子を使って接続することをおすすめします。

AVアンプの接続

スピーカー(左) AVアンプ スピーカー(右)

サーバー機から音楽を楽しむには、サーバー機をAVアンプとスピーカーに接続してください。

AVアンプに同軸デジタル入力端子がある場合:
同軸ケーブルを使って、サーバー機のCOAXIAL OUT端子を、AVアンプの同軸デジタル入力端子に接続してください。

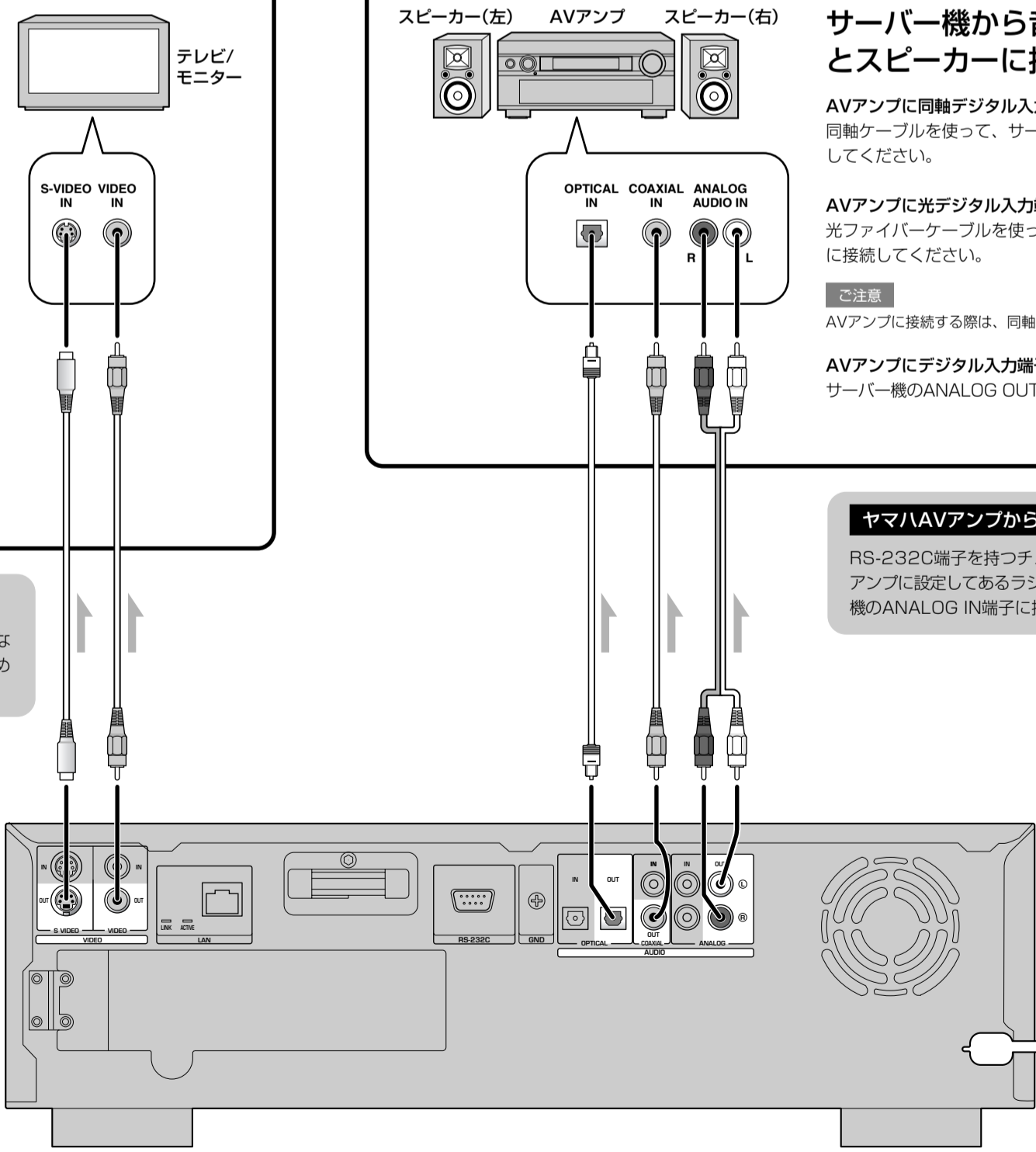
AVアンプに光デジタル入力端子がある場合:
光ファイバーケーブルを使って、サーバー機のOPTICAL OUT端子を、AVアンプの光デジタル入力端子に接続してください。

ご注意
AVアンプに接続する際は、同軸デジタル入力端子または光デジタル入力端子のどちらか一方にだけ接続してください。

AVアンプにデジタル入力端子がない場合、または、アナログ接続をしたい場合:
サーバー機のANALOG OUT(L)(R)を、AVアンプのアナログ音声入力端子にそれぞれ接続してください。

ヤマハAVアンプからのラジオ放送配信について

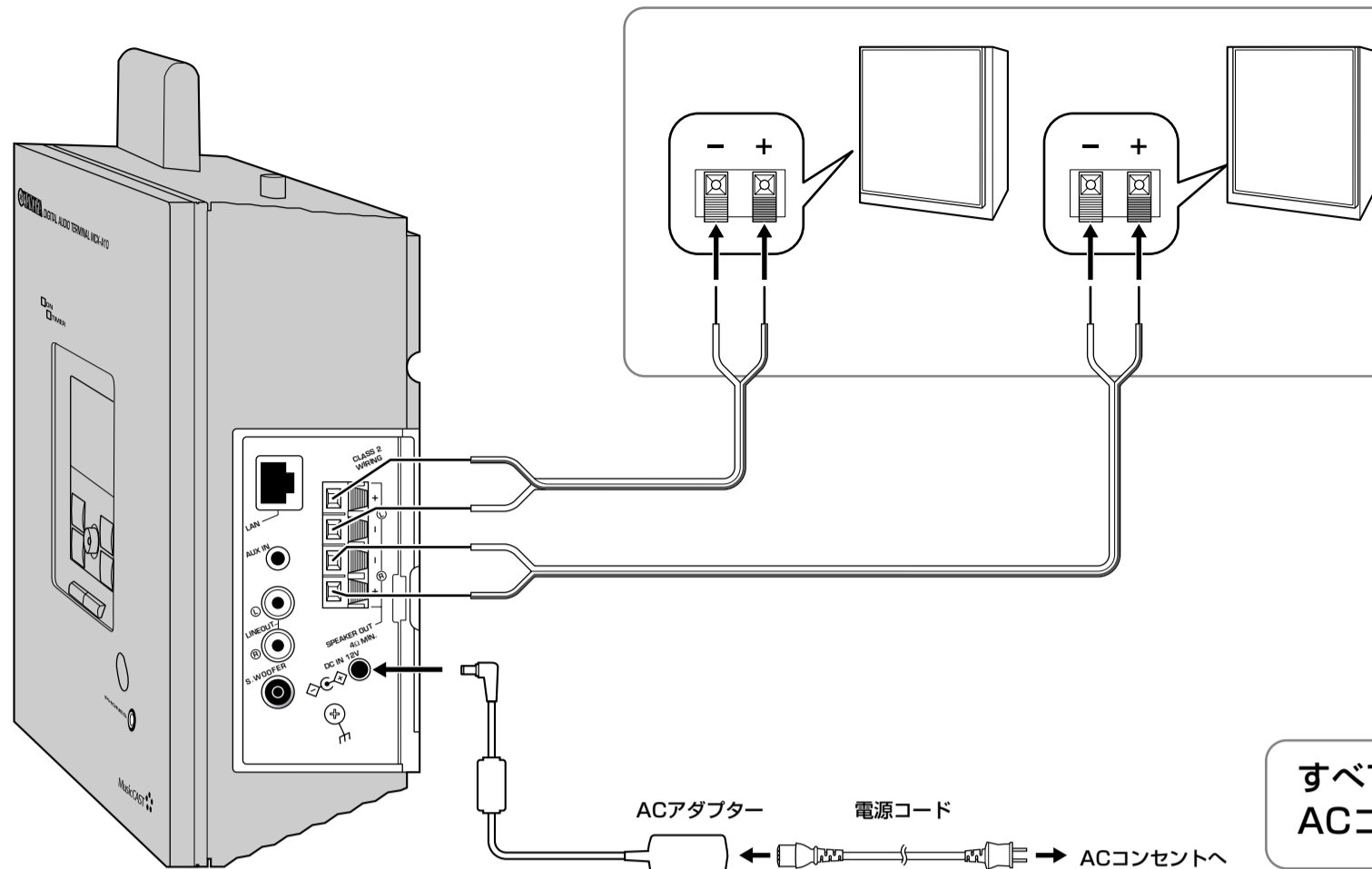
RS-232C端子を持つチューナー付きヤマハAVアンプを接続すれば、各クライアント機からヤマハAVアンプに設定してあるラジオ放送局を選択できます。ヤマハAVアンプのANALOG REC OUTをサーバー機のANALOG IN端子に接続してください。(MCX-1000取扱説明書190ページ)



ACコンセントへ

すべての接続が終わってから、電源コードをACコンセントに接続してください。

3.クライアント機をセットアップしましょう



スピーカーを接続しましょう

クライアント機にスピーカー(2台)を接続するとステレオ再生を楽しむことができます。接続するスピーカーは、専用スピーカーシステムMCX-SP10をおすすめします。(市販のスピーカーを接続する場合は、許容入力17W以下/インピーダンス4Ω以上のものを接続してください)

左右2本のスピーカーを下記のように接続してください。スピーカーケーブルを使って、クライアント機のマイナス(-)端子を、スピーカーのマイナス端子(黒)に接続します。次にクライアント機のプラス(+)端子を、プラス端子(赤)に接続します。

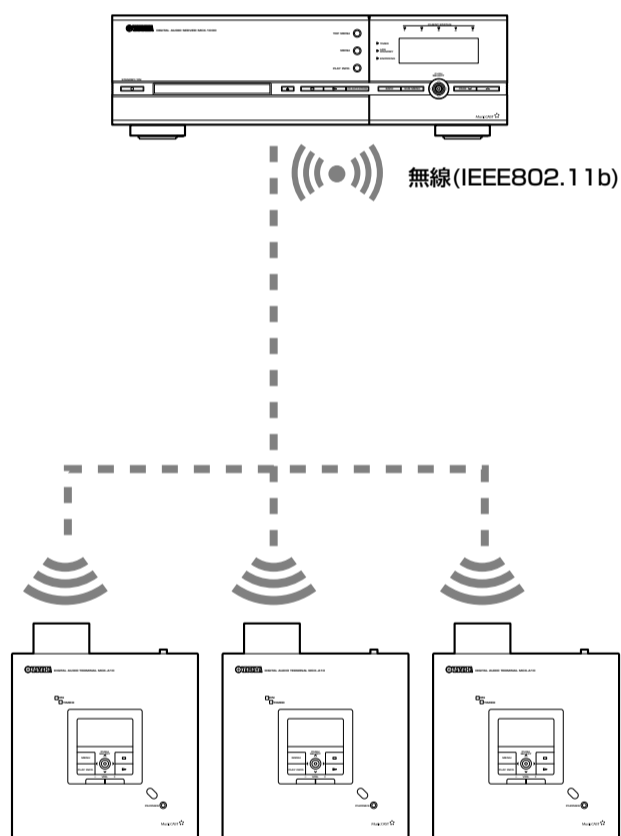
すべての接続が終わってから、電源コードをACコンセントに差し込んでください。

4.MusicCASTのネットワーク接続について

サーバー機とクライアント機のネットワーク接続は無線と有線の2種類があります。サーバー機は無線5台、有線7台までを組み合わせ、最大7台のクライアント機を接続できます。

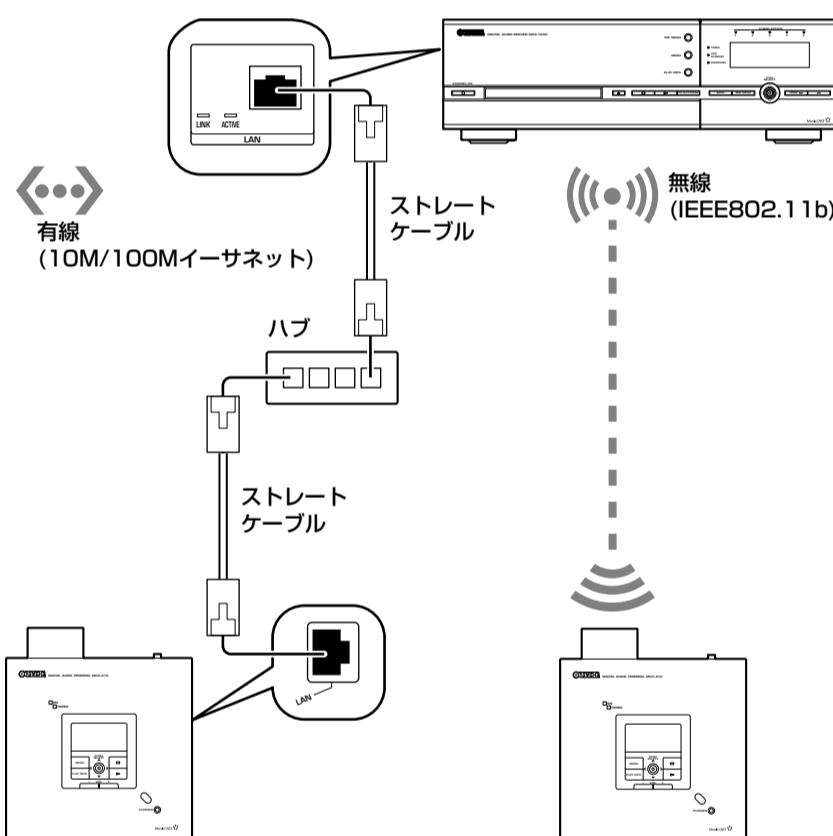
① 無線LAN接続

はじめに、ネットワーク自動設定機能を使い、簡単に素早く接続しましょう。クイックマニュアル13ページを参照して、ネットワーク自動設定を行ってください。



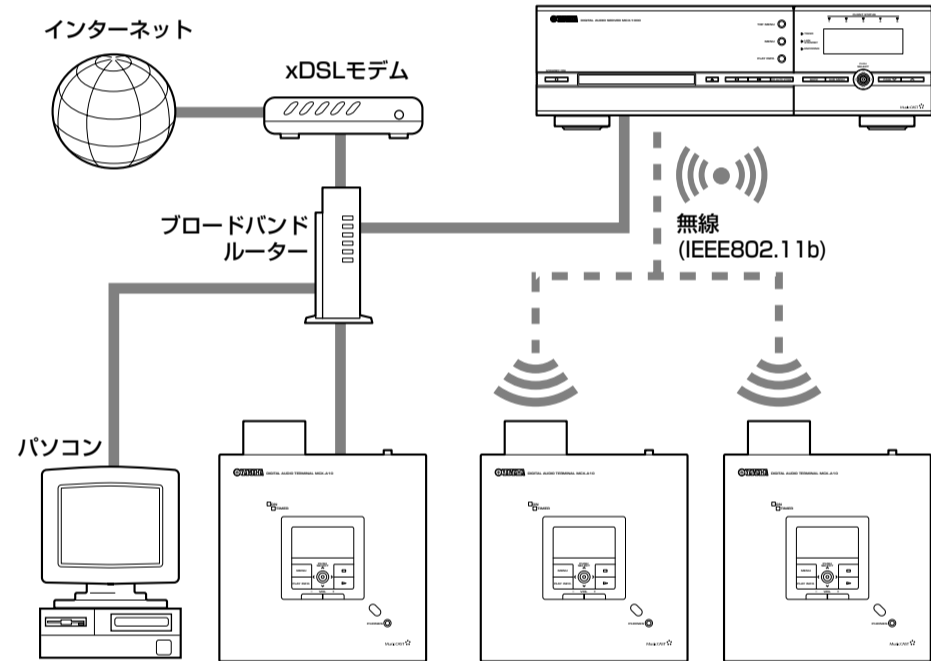
② 無線LANと有線LAN接続

①の無線接続で電波が届かない場合は、有線で接続をします。市販のLANケーブルとハブを使い、サーバー機およびクライアント機を接続してからネットワーク自動設定を行ってください。



インターネットからCDの情報を入手したい場合

インターネットからCDの情報を入手するには、以下のように接続して、ネットワーク自動設定を行ってください。



クイックマニュアル13ページをご参照のうえ、ネットワーク自動設定をおこなってください。

ご注意
ご注意 DHCPサーバーを利用しているネットワークに接続する場合は、サーバー機のDHCPサービス機能をオフにしてから接続してください(MCX-1000取扱説明書169ページをご参照ください)。

セットアップからの操作のながれ

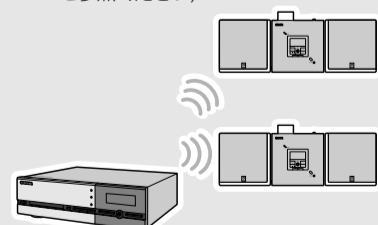
セットアップ

サーバー機とクライアント機を
セットアップし電源を入れる

各機器を接続し、
電源を入れる

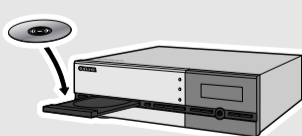
準備

ネットワークの自動設定
をおこないサーバー機と
クライアント機のネット
ワークを接続する



自動設定をおこなう
(クイックマニュアル13ページを
ご参照ください)

サーバー機に音楽を録音する
(クイックマニュアル18ページ、または
MCX-1000取扱説明書24ページを
ご参照ください)



基本操作

サーバー機またはクライアント機で音楽を再生する
(MCX-1000取扱説明書36~59ページ、および
MCX-A10取扱説明書42~62ページをご参照ください)

サーバー機に接続した外部機器の音声を
サーバー機またはクライアント機で聞く
(MCX-1000取扱説明書54ページ、および
MCX-A10取扱説明書62ページをご参照ください)

ジャンル/アーティスト/アルバム/曲の情報を編集する
(MCX-1000取扱説明書60~122ページをご参照ください)

お好みの曲を集めて、プレイリストをつくる
(MCX-1000取扱説明書88ページをご参照ください)

サーバー機に録音された曲から
オリジナルCDをつくる
(MCX-1000取扱説明書123ページをご参照ください)

ヤマハAVアンプにRS-232Cクロス
ケーブルでサーバー機を接続する
(MCX-1000取扱説明書135ページをご参照ください)

ヤマハAVアンプとの連携操作

サーバー機に保存されている音楽のジャンルに、
お好みの音場効果をかける
(MCX-1000取扱説明書136ページをご参照ください)

ヤマハAVアンプをサーバー機から操作する
(MCX-1000取扱説明書189ページをご参照ください)

ヤマハAVアンプにプリセットされている
ラジオ放送をクライアント機から聞く
(MCX-1000取扱説明書190ページ、およびMCX-A10取扱説明書
62ページをご参照ください)